

会長のページ	医師会共同利用施設	河野 雅行	3
日州医談	宮崎県医師会理事を一期経験し、 初めて分かったことそして感じたこと	松岡 敬子	4
随 筆	褒め上手 ⇄ 誉れリターンズ	山田 琢也	6
	臨床推論の深淵（後編）		
	The abyss of clinical reasoning—to avoid the cognitive bias (Part 2)	北村 和生	8
	豊後大野市観光と岡城	石橋 俊秀	10
	夫婦川柳（その1）	谷口 二郎	12
エコー・リレー（610）		野田 智穂, 星野誠一郎	16
身近なお困りごと相談室		高山 桂	17
宮崎大学医学部だより	内科学講座 - 血液・糖尿病・内分泌内科学分野	上野 浩晶	22
部会だより	学校医部会	高木 純一	23
診療メモ	無痛分娩の現状	牧 洋平	60
宮大医学部学生のページ	令和8年度新歓委員会からのご報告	飯盛裕之助	62

叙勲・祝賀	14
あなたできますか？（令和6年度医師国家試験問題より）	15
宮崎県感染症発生動向	18
日赤だより	21
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	24
第20回男女共同参画フォーラム	26
ベストセラー	27
九州医師会連合会第428回常任委員会	28
日医インターネットニュースから	30
医師国保組合だより	32
会員の異動・変更報告	34
理事会日誌	40
県医の動き	44
ドクターバンク情報	45
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あ と が き	70

公 示	宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿	39
お知らせ	女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	25
	医師年金ご加入のおすすめ	29
	日本医師会公式YouTubeチャンネル・LINE公式アカウントのご案内	58
	「はまゆう随筆」原稿募集	59
	郡市医師会への送付文書	64
	医療勤務環境改善支援センター	68
	日州医事原稿募集のお知らせ	69

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

水 滴

モノクロは不思議だ。色があるときよりも、かえって記憶が深く呼び起こされる。情報量が少ないからこそ、見る者の内側に解釈の余白が広がるのだ。そこには受け手の感情や記憶を静かに迎え入れる寛容さがあるのだろう。削ぎ落とされた階調こそが、かえって想像を豊かにするのかもしれない。

宮崎市長 松本健吾

会長のページ

医師会共同利用施設

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

令和7年8月群馬県高崎市で開催された第31回全国医師会共同利用施設総会に出席しました。当日は大変暑い日で、聞いたところによれば全国的にも最高気温を記録した地域であったそうです。本総会は隔年で開催されており、令和9年の第32回総会は宮崎県が担当と決定され、次回開催県挨拶を行いました。令和9年9月11日～12日にシーガイアで開催します。

分科会では各県・各郡市区医師会から実情についての報告がありました。いずれの報告も医師会病院をはじめとする共同利用施設は経営的にも大変厳しい状況で、現状打破の目的でさまざまな取組みがなされていました。

地域医療の現場では病院、診療所、関連施設などのすべてが経営的に厳しい状況にあります。原因として人口減少が根底にあり患者減少、施設職員の人手不足が挙げられますが、診療報酬が基本となっている医療機関全体に余力がなくなってきたことが最大要因です。今回の診療報酬改定は10数年ぶりに少しばかりプラスになりましたが、国の永年にわたる医療費削減政策によるマイナス改定が続いていたために、30数年ぶりの3%以上アップにも関わらず、累積した二桁以上になるマイナス分の補填にはとても及びません。材料費高騰対策として、資材、薬品の共同購入などの自助努力も推し進める必要があります。人件費高騰については他の業種と違って、決められた定数を維持しなければならず、例えるならばエコノミークラス料金でファーストクラスの医療提供を義務付けられていることから人員整理は簡単にはできません。診療報酬の更なるアップを要望するしかありません。さまざまな制約はありますが、場合によっては人事の交流まで図るべきかもしれません。付属した准看護師養成所も次々に閉鎖されています。経営母体は異なりますが、医療秘書養成課程も県内ではゼロになりました。閉鎖の理由はさまざまあります。一つは応募者の減少が原因です。決して役割が終わったわけではありません。現在の待遇では医療職に魅力が感じられないのも無理はありません。地元で看護師の供給ができなくなれば、医療機関の存続にも深刻な影響を及ぼします。

人手不足とはいっても報酬が高く条件のよい職種には応募者が押し寄せています。医療従事者の待遇を改善すれば、この問題は直ちに解決できます。小手先の対応では将来の地域医療の危機は目に見えています。今こそ本気に対応しなければ将来はありません。

このように共同利用施設も地域医療の窮乏を反映して多くの問題を抱えています。宮崎での第32回総会では一歩踏み込んだテーマを取り上げてみたいと思います。

(令和8年5月18日)

日州医談



宮崎県医師会理事を一期経験し、 初めて分かったことそして感じたこと

宮崎県医師会 理事 ^{まつ}松 ^{おか}岡 ^{けい}敬 ^こ子

平成9年4月に精神病院の常勤医となり、当時の院長先生の勧めから医師会員となりました。そのときは医師会がどういった組織であるのかもはっきりわかりませんでした。ただ「何かあったときに医師賠償責任保険制度で医師を守りサポートしてくれるから入った方がいいよ」と先輩医師に教えられ入会しました。

日向市東臼杵郡医師会員として、介護保険認定審査会審査委員を務めたり、学校医となったりと、診療以外の地域医療に関わることを経験しました。更には夜間早い時間帯の二次救急の病院負担を少しでも軽減するために夜間初期救急診療所で働くことができました。また、日本医師会認定産業医は医師会員であることで、講習を無料で受け単位を習得することができ、現在はメンタルヘルス関連での産業医活動ができています。

B会員からA会員となり、その後市郡医師会の理事そして副会長を務めたことで、精神科医としてはなかなか関わることのない予防接種などの予防医療や学校健診や乳幼児健診、一次救急医療体制の維持のことについて学ぶ機会を得ることができたことは、大変ありがたいことであつたと思っています。そして副会長を務めていた期間がちょうど新型コロナウイルス感染症のパンデミックの時期であつたこともあり、行政との協

力が医療において、いかに大事かを実感することができました。

しかし、令和6年6月に日向市東臼杵郡医師会代表として県医師会理事となり、実は自分は医師会員として今まで何も知らなかったということを実感したのです。

**日本医師会（日本で唯一医師を代表する団体
日本医師会入会案内パンフレットより）**

1916年に大日本医師会が設立され、北里柴三郎先生が初代会長に就任されています。医師会組織は、郡市区等医師会、都道府県医師会、日本医師会の3層構造になっています。つまりそれぞれの医師会は独立した法人組織なのです。そして、各医師会のカウンターパートである「市区町村」「都道府県」「国」に対応しています。3層の医師会が緊密なる連携を図り、全国津々浦々に存在する医師会が、それぞれの役割を果たすことによって、「国民の生命と健康」を守り「医師の医療活動」を支援しています。

中学生のときに叩き込まれた日本国憲法を思い出しました。日本国憲法第25条第1項「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」。いわゆる生存権を憲法上の権利として位置付けている条文です。日本医師会綱領としてもまず第一に、「日本医師会は国

民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます」と明示しており、私たち会員は誠実に実行することを約束しています。こうした高い倫理観と使命感を常に認識できることは、医師会員となった誇りだと思いました。

日本医師会は、医師を代表し、国・官公庁に対して医療政策に関するさまざまな諮問や提言を行っています。日本医師会内には医療におけるさまざまな問題について議論する約50の委員会があり、更に厚生労働省や内閣府を中心とした官公庁14の省庁などにわたる約200の各種会議、審議会に役員が出席し、医療提供側からの意見を提出しています。

宮崎県医師会

都道府県医師会は、各都道府県の医療政策に基づき、都道府県民の健康を守るための各種協議会や啓発活動を行っています。また、救急・災害医療に関する取組みは多くの場合都道府県医師会が主体となって行っています。更に、都道府県医師会は大学との窓口にもなっており、学術・教育・研究部門の支援活動も行っています。

宮崎県医師会には会長、2名の副会長、11名の常任理事、9名の理事がいます。月に1回常任理事会、2回理事会が開かれています。また39の業務分担、32の委員会があり、それぞれ主担当副担当がいて、各種委員会も主担当の元が開かれています。

私は、組織強化・将来構想委員会、情報システム委員会、男女共同参画委員会、地域医療委員会、学校保健委員会、そしてプライマリケア事業の担当としてこの2年間勉強させていただきました。

組織強化・将来構想委員会は、医師会員数を増やし組織力強化するための委員会となっています。2024年12月時点での医師数347,772人に対し、2025年12月時点での日本医師会員数は178,593人と、年度は違うものの組織率は51.3%となっています。これでは診療報酬や医療制度などに対する意見を政策決定の場へ届ける組織としては力不足としかいえず、ことに勤務医3人のうち1人しか日本医師会員がいないことは大きな問題だと思われます。

情報システム委員会は、医療DXビジョン2030の実現に向け厚生労働省が①全国医療情報プラットフォームの創立、②電子カルテ情報の標準化など、③診療報酬改定DXなどの施策の推進を進めており、それに対応するべく開かれる委員会です。また、医療のIT化にともないサイバー攻撃も増えており、その対策のための講義も多数開かれています。

男女共同参画委員会では、現在は男女とわけることは時代遅れとなっており、女性だけでなく男性医師も育児介護といった家庭の問題を抱えつつも働きやすくする対策などを話し合っています。それぞれの委員会で、現在の医療業界だけでなく、社会全体が抱えるさまざまな問題を解決すべく勉強し議論を重ねています。

こうした宮崎県医師会の活動は河野雅行会長をはじめとした役員の方、そして事務局の職員の方々のご尽力のもと運営されており、大変感謝しております。

随 筆

褒め上手 ⇄ 誉れリターンズ

宮崎市 ^{やま}山 ^だ田 ^{たく}琢 ^や也

ややもするとすぐ他者をディスる風潮がある昨今。争いの元だ。そこで趣旨は、負の応酬の対極にある褒めが褒めを呼ぶ好循環のサイクルが醸成されることを願い、素敵・秀逸と感じた褒め方に上級の褒誉返しをするという思い切ったものだ。褒めてくださった側は褒め上手、に対するリターンで誉れリターンズ。上手とリターンズで韻を踏んだ。自分を買いかぶっているのか、そんな話は自分の胸だけにしまっておくんだ、よそでやってくれ、それになにを偉そうにとお叱りを受けるかもしれないし、学術的臨床的社会的に何も成しえていない身で僭越ながら、恥も外聞もプライドも照れも捨て、褒めることの素晴らしさを体現する。

「あっ じゃあ山田くんお願いね、ありがとう」
(先輩医師)

卒後2年目、棟内の入院患者さんが急変だと人の輪でワヤワヤ。兄貴分のような先生を中心に状況打開へ動き出している。他大学からみえている1年目の優秀な先生がエコーを始めている。私は2年目なのにまだ当時はCPRもちゃんと、殊に挿管もできなく、エコーもできず。さりとしてただつつ立っているわけにもいかず何かできることはないか頭を働かせ「僕血ガスいきます」。そこに兄貴的中堅医の先生が緊迫感の中くださった謝意の声だ。微力ながら役に立てた気がして嬉しかった。一方、その1年目の先生は病棟で顔を合わせたとき、データの読み方を「CD19や20はB cell系をみるじゃないですか」とか教えてくれた。出向先で一度躓いたあとだったし、私は2年目が1年目に教わって情

けないとは思わずむしろ有難かった。当時も立派な先生だったが今も立派にご活躍と思う。

「バランスがいい人。いろんな意味で」(上司)
昔勤務最終日の朝礼でその院長先生がくださったはなむけの言葉だ。身に余るお言葉だが、通り一遍でなく具体的な褒め方は光栄で嬉しいし、ひとをみるお目の高さと言に出し表現される力に敬服する。

「いろんな才能持ってそう。アナウンサーでもお笑い系でもジャニーズ系でもいけそう」
(ニシタチMさん)

「カッコカワイイ」(中洲Rさん)
まず断っておくが私は夜の街を飲み歩く人ではない。仕事(の延長)で行っただけだ。歓楽街の名前だすとこりゃ妻にいい顔されないな。コロナ禍だったら接待を伴う飲食店だとお?と世間に叩かれたはず。16, 7年前の話だ。お名前はおそらく源氏名?お世辞でも社交辞令でも一期一会の短い時間に特別感ある褒め方をしてくれるのは嬉しいし、煌びやかな夜の世界でいろんな業界・立場の人と接しているからひとを見る目に長けているのだろう。私はいわゆるイケメンやカッコイイ類ではなく(行動や言動がかっこいいとか癒し系とか今こんな肥満オッサンだがかわいいと言ってもらえることはある)、学生時代もブイブイいわせていたタイプでもない。結婚する前もした後も基本モテなかった(後は当たり前か)。重くてキモチ悪がられることもある。いやイオンやマックスバリュで使うWAONカードがG.G WAONになる

歳になりなおさらモテるわけなし別にもうモテなくてもいいのだが。

「人生の歩き方がいいじゃないですか」(職員)

以前の職場の飲み会で、腰痛の話でもしてたか、歩き方を自虐的に話す場面があった。実際私は猫背、やや前屈みでヒョコヒョコ歩くのでいい歩き方ではない。それを言うと介護職の30代男性職員が返してくれた。いやいや人生もそんな褒められたものでは…という本音と謙遜の混じったアンチテーゼがよぎったが、悪い気はしないし、その褒め方が“座布団一枚”的にうまいと思い「いやいや、てか、うまい！」と言うと男性職員もドヤ顔まではいかないが、まんざらでもなさそうなしたり顔で、また笑いが生まれた。

研修医のころは、実習学生を指導するのが苦手だった。忙殺され余裕もなかったし自信もなかった。ところが人間とはわからないもので40代ごろより、別に余裕や自信を得ていたわけでもないが、研修医の先生や医学生さんに接するのが苦でなくなった。むしろ、訪問診療の車で同行の際、外来の陪席してもらっているとき、病棟詰所で、医師を志した理由、将来の希望診療科や宮崎に残る意向の有無、本業とは関係ない雑談など、話をする時間が好きになった(四捨五入したら還暦がみえたところで投稿マニアみたいになっているのも同様のことかもしれない)。私に関わったのは、不遜な言い方だが、みな真面目で、この先が楽しみだなという若い人たちがばかりで、傾聴して褒めのスタンスだ。

鬼籍に入られた林 克裕先生(宮崎大学医学教育改革推進センター教授や済生会日向病院長などをご歴任)が「**気配りの山田**」と評してくださっていた40代序盤の私に「**医師に必要なものは?**」と問われたことがある。難しい。いろんな答えがあっていいし、他の先生方がどう回答されたか知りたかったが、総合力と書いてバランスという振り仮名ですと答えた。総合力には、圧倒的な記憶力、抜群の論理的思考力、寛容な人間力という意味を込めている。外科系だとまた異なるのかもしれない。外科系の先生方にもお伺いしたい。さて、大前提として膨大な知識は求められるが、それだけでは立ち回れ

ず、それをうまく組み立て考察を進めていく論理的思考力が要る。これを得るには数学、物理といった理系科目でも得られるし、受験生や受験経験者が口を揃える国語、英語といった語学も適していると思われる。人の生き死に関わるし、嫌われても恨まれても患者ご本人やご家族にバッドニュースを伝えなければならず、人間力・胆力が試される。実はこれが一番難しいかもしれない。どうやって涵養するか。読書? 映画? そういった(人間力を上げるような)座学? 臨床経験? 人との出会いや別れ? それらもひっくるめての人生経験? 20年近く療養型の当直を務めた。療養型ゆえ大方は寝当直だ。ただ療養型ゆえ相応にお看取りも多い。長くやっているといろんなことがある。夜中病棟に呼ばれる。ご家族も呼ばれている。取り乱したり死を受容できないご家族やコワモテ/恫喝したりする人もいる。療養型でコレとは手ごわい。出たところ勝負で初見の患者さんの臨時説明をご家族にする。私と夜勤の看護師さんたちとご家族。本来なら3対1とか2対2のはずだが1対3と周りすべて敵にみえる。試されている気がする。平静を装いつつ胸中(少しお行儀悪いが)「マジなめんなよ」と怒気と緊張で真夜中の病棟に向かう(むろん急変に怒ってるのではない)。今夜も案の定1対3だ(天邪鬼な一匹狼の被害妄想での錯覚)。いやそれぐらいの気概を持って事にあたっていたということだ。心は熱く頭は冷静に任務を果たした翌朝には常勤医の先生に「**難しい仕事をありがとう**」と労をねぎらわれる。こんなことの積み重ねは人間力を一段上げてくれる。

人生はたかだか何十年。子どものころ父に「スケールの大きな人間になれ。こまい人間になるなよ」母に「視野と心の広い、心だけは豊かな人になって。人の悪口は言いなさんな」と常々言われていた。それもあり人の足を引っ張ったり出し抜いたりするのは好きじゃなく、しないというのものもあるし、短い人生を妬み嫉み僻みに生きたくない。列挙してきたが褒めることが(評価や感情というのは変わるので未来永劫ではないが)その時々においてこれほどひとの人生を明るく照らしてくれるのだ。さあ今日も、明日があれば明日も素直にいいものはいいと言おう、褒めて褒めて差し上げて褒めまわろう。

随 筆

臨床推論の深淵（後編）

The abyss of clinical reasoning —to avoid the cognitive bias (Part 2)

日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた} ^{むら} ^{まさ} ^お 北 村 應 旺 (和生)

（承前）後から振り返ると、なぜ最初に肝膿瘍→再生結節の可能性を考え付けなかったのかと思う。最初から頭になかったうえ、その後の画像診断の結果を見て、治療まっしぐらに走ってしまった。まかり間違えば手術不能となり、今の元気な義兄は存在していない。早く治療を開始して治してあげたいという思いから、anchoring bias（最初の診断に固執する）、confirmation bias（不都合なデータを無視する）、hassle bias（最も楽に処理できる仮説のみ考える）などいくつものclinical biasに嵌ったことは反省点である。もっとも、途中経過は五里霧中で後知恵であることは否めないのだが（これも後知恵バイアスという）、土壇場で、末期がんにしては全身状態がよすぎるのではないかという、私のあまりにも直感的な指摘が、これらのバイアスからの脱却に役立った。私をもっと優秀な内科医であったなら、転移巣の指摘があった時点で、肝膿瘍癒痕巣の可能性を指摘できていただろう。臨床推論の奥深さを実感し、貴重な経験をさせてもらったと思っている。義兄はその後、町で歯科診療所を開業し、現在も元気で診療とゴルフに励んでいる。

更に先立つこと16年、今から33年も前の昔話。開業の前年であったが、長年務めた保健所長を勇退し（後に勲4等瑞宝章—現行の瑞宝小綬章—を受賞）、国富町でささやかな医院を開業していた父に異変が起きた。頑健な父であったが、訪ねる少し前から右頬部が腫れてきたというのだ。ヘビースモーカーであったから私は嫌な予感がして、翌日、当時勤務していた病院で頭部CTを撮ってもらった。幸い、大学から

神経内科の名医S先生が派遣されてきており、一緒に読影をお願いした。案じていたとおり、病変の上顎骨に骨融解像があり、癌が強く疑われた。さっそく某病院に、CT写真と癌を強く疑っている旨を記載した診療情報提供書を準備して受診させた。後日父を訪ねると、頬部がさらに腫大している。外来で穿刺排膿され、何度か洗浄されたとのことであった。すぐに病院に電話を入れ、細胞診の結果を問い合わせると、やっていないとの返事。あやうく受話器を取り落としそうになった。怒りを抑えて理由を尋ねると、上司が診察され慢性副鼻腔炎と診断されたので細胞診は出さなかったと、さも当然であるかのようなものの言いに私の怒りが爆発した。癌を強く疑って受診させた患者の体液を抜いたのに、細胞診に出さないとは何か！私の剣幕に相手は驚き、明日、再診させてくださいと。翌日の再診時に先方から電話があり、「申しわけありませんでした。先生のご指摘のとおり、たった今、細胞診で癌が出ました。つきましては、ぜひ、当科で治療をさせていただきませんか」…絶句。どの口がそれを言う！

私は父を熊大病院耳鼻咽喉科に入院させた。石川哮教授は学生時代の恩師で、当時最先端の治療（扁平上皮癌特異的CTLを用いた癌免疫療法）を施していただいた。回診の際、教授が父を「先生、先生」と言われるのが面白かったと、後に母が述懐している。そのお陰で短期間の寛解が得られ、開業したての医院に連れ帰り、わずかな間、一緒に診療ができた。父は鍼灸の秘儀“一鍼一点一回法”の達人であり、東洋医学会で発表もしていた。ただ、時すでに遅

く、肺に大きな腫瘍が見つかり、石川教授は手術に賛成されなかったが（もちろん、これが他人なら私も勧めなかったろう）我々は起死回生の可能性に賭け、敗れた。外科での切除後に急激に病状が悪化、再び当院に連れ帰ったが呼吸不全が増悪し2か月足らずで私が最後を看取った。こぼれるな涙、心で止まれ！ まだ開業したての時期で、父の屍を乗り越えて前へ進まなければ、との思いが涙をせき止めた。享年74才。葬儀の前日から雨が凍って雪が舞う当地には珍しい寒さになった。父の死の12年後、石川教授も胃癌に倒れられていたことを、最近知った（享年76才）。合掌。

♪^{そら}天が泣いたら雨になる 山が泣くときゃ水が出る
俺が泣いても何にも出ない
意地が涙を 泣いて 泣いて 泣いてたまる
かよ〜ォ 通〜せんぼ♪

－「泣いてたまるか」－

唄/渥美清 詩/良池まもる 曲/木下忠司

もし診療医に「正しい資質」があれば、細胞診はすぐに結果が出るのだ。それをしなかったのは職務怠慢であるが、より許せなかったのは、思い込みで癌を否定して、診断が確定する前に何度も洗浄を繰り返したことだ。この操作により癌細胞を全身にばらまいてしまった可能性が高い。事実、この後、顔面を含む全身に急速に癌が転移し、熊大での治療も甲斐なく、父は壮絶な最後を迎えることになった（後日、熊大病理部で、父の癌細胞を見せてもらったが、凶悪な顔つきであった）。病院の外来を任されていたのだからルーキーではあるまい。上司の診断を盲目的に信じたoverconfidence biasであろう。今更、恨みつらみを言っても詮無いが、初診時の紹介先をもっと慎重に選んでいれば…思い出すと今でも自責の念に駆られる。

さて、最後は私事である。8年ほど前のことだ。そのころ、なんとなく上腹部不快感を感じることもあり、自分でエコーを当てると、大きな胆石が鎮座していて驚いたものだ。考えてみれば朝から晩まで座りっぱなしなのだから胆汁の流れが停滞するのも無理はない。ところが、おなかの張りや食欲低下が数日続き、こりゃあ、いよいよ胃癌か膵癌かと疑い始めた。午

前の診療を終わらせ恐る恐るエコーを当ててみると、なんと、あの立派な胆石が消え失せ、胃袋と胆嚢はパンパンに緊満、総胆管も拡張している。やばい！ 自宅に上がってはきたが、昼食どころではなく苦しいのだ。妻の顔を見るなり、「ちょっと寝室で転がってくるわ」と言いざまベッドに倒れ込んだ。

自己診断は総胆管結石乳頭嵌頓→麻痺性イレウス。大きな胆石だ。参ったな。熊本なら内視鏡的乳頭切開術の名人がいるが、ここじゃ下手すりゃ腹切りだ。2週間ほどの入院で済めばよいが、縫合不全でオダブツ？などと悪い考えばかりがよぎるうえ、身の置き所なく苦しいのだ。ベッドでのたうち回っているうち、ふと名案が浮かんだ。《ここから先、よい子は決して真似してはなりません。命の保障はありません》。左側臥位になると死ぬほど苦しいのだが、頑張って右膝を胸まで引き上げ、更に腹臥位気味に体を倒して腹圧をかけると肝臓が上から胆嚢を圧迫して排石できるのではないかと？ チラつく死の影を振りほどき、辛さをこらえて、やった。なんと！ まるでポンと音がしたかのように感じた直後、死の苦しみが嘘のように雲散霧消したのだ。飛び跳ねんばかりに妻のもとへ行くと、「先生！ 顔がまっきっきーだよ！」。鏡を見て驚いた。瞬間、ビリルビン値なら二桁、トランスアミナーゼは数百に跳ね上がっていたに違いない。胆道内圧が急上昇して大きな胆石を跳ね飛ばし、返す刀で逆流した胆汁が肝ジヌソイド内で細胆管を破壊したのだ。なんとという荒療治！ ただ、私は無性に嬉しかった。自力で難しい病態を診断し、わずか数十分で治したのだ。臨床推論がはまり横紙破りが通った。そして午後2時からの診療を文字どおり何食わぬ顔で済ませた。あっぱれ拍手喝采！ 喝だあこの極楽トンボ！ 誉め言葉に罵詈雑言、なんとでも言ってくれ、俺は元気だ。ルーチンワークとして運動を始めるようになったのはこのときからだ。見渡せば世界はバイアスに満ちている。事実の一つ、真実は関わった人の数ほどもあるという。何が事実かを見極める目を養うことこそが大切だろう。

随 筆

豊後大野市観光と岡城

延岡市 井上病院 石 橋 俊 秀

5月5日(祝)に大分県豊後大野市内と岡城(竹田市)を観光した。延岡市から北上し、豊後大野市の沈墮の滝⇒竹田市の岡城⇒原尻の滝・道の駅原尻⇒滞迫峡⇒出会橋・轟橋⇒稻積水中鍾乳洞を1日で巡った。人気度を示すために私が見たおよその観客数を示す。

沈墮の滝：観光客は数人

室町時代の画家・雪舟が『鎮田瀑図』で、この滝を描いたのが知られている。秋には「雪舟まつり」が開催され、雪舟にゆかりのある5市が集まる「雪舟フェスタ」も開催されている。正面に見えるのが雄滝で、幅100m・落差20mあり、明治時代は沈墮発電所だった。訪問した日は水量が少なくて放水されてなかった。右手前には雌滝があり、幅10m・落差18mあり、爆音を響かせていて、虹も見られた(写真1)。近代文化遺産にも認定されていて、豊後のナイアガラの異名もあるそうだ。



写真1 沈墮の滝

岡城：数十人～百人くらい

入口で岡城跡観覧券(別名、登城手形)を買って本丸を目指した。パンフレットによると、1185年(文治元年)に緒方三郎氏が源義経を迎えるために築城したと伝えられている。国指定史跡にもなっている。

ゆっくり歩いて行くと、荒城の月との関連を示すペンションがあった。大手門跡、賄方跡、鐘櫓跡、三重櫓跡、本丸跡(標高325m)となっていた。本丸近くの二の丸跡に滝廉太郎の像が立っていた。そういえば、滝廉太郎が作曲した「荒城の月」はこの城をモチーフにしたらしい。三の丸跡から九重連山が見えた。

途中で赤と水色のリボンを見かけた。後で調べてみたら、「九州オルレの奥豊後コース」(距離：12.0km, 所要時間：4～5時間, 難易度：中級)だった。朝地駅観光案内所からスタートし、用作公園→普光寺→十川の柱状節理→岡城跡→城下町竹田の町並み→竹田温泉をゴールとするコースの一部だった。『機会を見て、挑戦しよう』と思った。

原尻の滝：数百人と最も人気があった

正面から見て、横幅が広いのにビックリした。幅120m・落差20mの滝だそうだ。約9万年前の阿蘇火山の噴火による火砕流が堆積して冷えて固まり、年月をかけて川で削られてできた滝。「東洋のナイアガラ」とも言われているそうだ。

瀧見橋からの眺めが素晴らしかった（写真2）。前後左右に揺れたので船酔いに似た気分になった。滝の下では、期間限定（5/3～5/6）の催し「HARAJIRI FALL BOTT TOUR」が実施されていた。オレンジ色のライフジャケットが初々しかった。滝は上流からも見ることができた。近くには水中鳥居、大きな水車や青色のポストが設置されていた。



写真2 原尻の滝

道の駅原尻のレストランで地元の食材を使った「椎茸シュウマイとナスのはさみ揚げ」を注文した。美味しかった。お土産にホカホカの焼き餅（イモ餡）を買った。

4月4日（金）～4月13日（日）にはチューリップフェスタ2025が開催されたそうだ。新聞で知っていたが、訪れるタイミングを逃した。『来年は、ぜひ見に来たい』と思った。

たいさこきょう

滞迫峡：数人だった

原尻の滝の上流にあり、高さ70m・幅100m以上の柱状節理が見事だった（写真3）。川沿いまで降りて行けてすぐ近くで見られた。私は『柱状節理の壮大さは高千穂峡に比べて遜色ないのに、なぜ人気がないのか不思議な気がした』。



写真3 滞迫峡

であいばし とどろきばし

出会橋・轟橋：数十人だった

駐車場が分からなかったので、轟橋の手前に一旦駐車した。坂道を少し下ると、出会橋に着いた。近くにいた観光客に尋ねると、「上の方に見えるのが轟橋」と教えてもらった。

大正9年から13年にかけて、人や森林鉄道を通すために造られた奥岳川にかかる2つのアーチ式石橋だ。轟橋のアーチ幅が32.1mで日本第1位、出会橋のアーチ幅が29.3mで日本第2位となっている。両岸には柱状節理という自然の造形美と人が造った造形美の双方が楽しめる場所として人気がある。

いなづみ

稲積水中鍾乳洞：百人くらい

パンフレットによると、ここは3億年前の古生時代に形成され、30万年前の阿蘇火山噴火により水没し現在の形になった。日本最長の水中鍾乳洞らしい。順路に沿って右側に行くと「水中洞」、左側に行くと「新生洞」となっていて、約600mを約30分で見学できた。黄金が溶け込んでいる鍾乳洞もあった（黄金柱など）。ベルのように凹凸が激しいものには、ブルーライトが当ててあり、ベルのように見えた。また、水に浸かっている大サンゴ洞（ツララ石・石筍・フローストンなど）という広大な空間もあった（写真4）。



写真4 稲積水中鍾乳洞

随 筆

夫婦川柳（その1）

宮崎市 谷 口 二 郎

夫婦とは実におもしろい存在。愛し、愛され
スタートした夫婦生活も、年齢を重ねるにした
がって変化していくものである。その関係は同
志であったり、反対勢力だったり、上下関係が
微妙だったり、いろんなシチュエーションがあ
る。そのふるまいには怒りあり、笑いあり、諦
めあり、別れあり、人生そのものだと言える。
そういう夫婦を川柳にしてみた。きっとこの中
にはどんな夫婦も経験したようなエピソードも
たくさんあるはず。金婚式を迎えた私たち夫婦
もいろいろあった。それを含めて読んでいただ
いたら幸いである。

新婦から妊婦に変わった披露宴
夫婦碗ひびが入ってもう十年
夫婦にも賞味期限はあるのかな
暑い夜夫のパンツ履いて寝る
娘よりおっぱい小さいと夫言い
抱き合った手が届かないデブ夫婦
ビールでは妻横綱俺十両
サイン出す妻は監督俺選手
子ども起き慌てて妻のパンツ履く

助走して横になってる妻を飛ぶ
社長さん家に帰れば妻社長
次の世は体重別で妻選ぶ
夫婦別床狭いうちのどこでする
まず土下座それから言い訳考える
今チャンス寝言のふりして妻の名を
寝ていても俺の失言逃がさない
妻が留守開けたカニ缶昭和物
野良犬が恐ろしく妻抱きしめる

結婚に金をかけすぎ離婚せず
補聴器が故障したふりして愚痴聞かず
アレソレで心の交う老夫婦
うちの妻値段はいくらだ通販で
お母様と呼ばれりやすぐおねだりだ
ごめんなさい夫のおかずは残り物
寿命です家も家族も夫婦さえ
かすがいの子がケンカの本になる
子が巣立ち妻も巣立って俺残る

母来ると咳する家内の悪い癖
子が五人青春返せと妻叫ぶ
単身の夫の世話より猫のエサ
流れ星金くれ叫ぶ若夫婦
妻が前俺が後ろじゃ前見えぬ
ケンカ後の愛妻弁当毒味する
朝昼晩化粧はするが掃除せず
豆まきは夫をいじめるチャンスです
電撃の結婚それから電撃離婚

幸せになろうと言って離婚する
五十年我慢したから別れましょ
仲人が離婚したので別居する
妊娠か？お前ばか言え50だよ
はいチーズ笑って入れ歯が踊り出す
養毛剤黒く生えればいいのだが
遺産入り急に優しくなる女房
犬だけが僕の部下と言う夫
寝たきりになった同士でケンカする

ふざけあい本気で夫蹴ってみる
妻の名がさっと出てこず怒られる
ペットなら妻ほど怖いものはない
顔隠し踊っていても分かる妻
行く前に成田離婚した猛者夫婦
婆ちゃんに生理あったか娘聞く
立ち読みで今夜のおかず決める妻
似てきたわカツラを取れば爺ちゃんに
カニ食わせてやっとな家の口封じ

元のさや大きさ違ってはまらない
自分では分からぬ癖を妻は真似
妻の腹そのまま人の顔となり
子が聞いた今おとうさん幸せなの？
胸がなく心配したが子は育つ
早送りやってみたいな家事仕事
披露宴おなかの子どもあくびする
Gパンを脱いだ形で置く家内
おこずかい家内は五枚俺小五枚

お父さん家にいるのにホームレス
よう親分と家族みんなで妻を呼ぶ
手相見て女難の相ありと妻が言う
家出した夫携帯で呼び出した
子の前でまず夫から教育する
妻に負けたと子どもと相撲取り直す
ヒラのままずっと妻は耐えていた
定年後妻と暮らせる自信なし
かすがいの子が原因で離婚する

心臓に悪いよ初夢妻の顔
ダイエットと言いながら妻五杯
いつの間にか私の席がなくなった
妻の愚痴耳栓しながら聞いている
掃除機に吸い込まれたよ我がカツラ
妻の字が毒と見えるよと老眼鏡
ゴキブリと夫とどちらが嫌いな
パパ電話ママトイレ風呂入ったすき
リモコンで動く女房募集中

友達に二十歳の妻と紹介し
バーゲン品高かったよとプレゼント
旅の宿ゆっくりするのは妻子ども
荒れた手にダイヤ合挽ぬと主人言う
パンストにリンゴのお土産詰める妻
古池やダンナ飛び込む音がする
相撲なら妻は横綱俺序二段
いつまでもあると思うな妻と金
寒い日は厚化粧して暖をとる

胃潰瘍妻家出して完治する
ぴったりよエプロン姿あなたには
一月分カレー作って妻旅行
再婚後指輪が二つ光ってる
ただいまと金魚にあいさつ俺は無視
女房の今日の天気の子から聞く
アンケート年収一億と書いた妻
ダイエット努力はするが金続かず
家の中1個も鏡置いてない

体重計2つ並べて計る妻
茶柱を茶こしですくっていた女房
お嬢様呼ばれただけで買っちゃった
妻髪を切りすぎたのでカツラ買う
寝返りによいしょとかけ声かける妻
足音でしっぽ振る犬振らぬ妻
子誉めて夫誉めず20年
お仕置きにごはんだけのお弁当
帰ったらぬいぐるみ抱いた夫居た

手帳見て何の印かあせる俺
再婚もあなたとしたいとゴマをする
家の中他人はあなただけなのよ
エレベーター先妻と妻が乗っていた
夫よりトカゲやヘビが好きな妻
包丁を持ちながら妻テレビ見入る
環境と猫には優しい我が女房
シーソーをしたら一度も妻上がらず
父の日を過ぎて気が付く妻子ども

子を生めば怖いものなしこの世には
だめですよ、医師よりきつい妻の指示
死にたいと言う俺そっと抱く子ども
結婚はタヌキとキツネの化かし合い
妻家出元気になった俺と犬
会社では態度がコロリ変わる妻
体重計片足上げて計る妻
今チャンス妻は虫歯で喋れない
子を産めば増える体重減るお金
妻よりも優しい彼女はまだ5歳

まあ考えてみれば、ある日突然見知らぬ人同士が一緒になるのだから、いろんなことが起こるのは当たり前だ。それを楽しむのか、悲しむのか、無視するのかは勝手だ。でもせっかく夫婦になったのだから、その攻防を楽しんだ方が勝ちである。夫婦はキツネとタヌキの化かし合い。一体キツネとタヌキ、どちらがどちらなのだろうか。夫婦でゆっくり考えてみたらいかがだろうか。

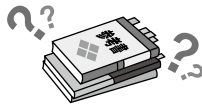
叙勲・祝賀

旭日双光章

いち はら まさ あき
市 原 正 彬 先生 (延 岡)

令和8年春の叙勲において、保健衛生功勞により旭日双光章を受賞されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。





あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は43ページ)

- 都道府県が設置主体でないのはどれか。
 - 児童相談所
 - 医療安全支援センター
 - 精神保健福祉センター
 - 地域医療支援センター
 - 地域包括支援センター
- 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの項目に含まれないのはどれか。
 - 計算
 - 見当識
 - 物品記銘
 - 数字の逆唱
 - 立方体の模写
- 医師の言葉がけで最も共感的なのはどれか。
 - 「夜は眠れていますか」
 - 「元気を出してくださいよ」
 - 「痛み止めを処方しますね」
 - 「私がなんとかしましょう」
 - 「心身ともにおつらいですね」
- 消化管位置異常のない患者で上部内視鏡検査を開始する際にとらせる体位はどれか。
 - 右側臥位
 - 起座位
 - 仰臥位
 - 砕石位
 - 左側臥位
- 65歳の男性。糖尿病のため教育入院中である。医師が病棟の廊下を歩いているときに、病室内から大きな音が聞こえた。急いで病室へ駆けつけると、患者がベッドサイドに倒れており、呼びかけに対して反応がない。

まず行うべき対応はどれか。

 - 応援を呼ぶ。
 - 頸椎を固定する。
 - 胸骨圧迫を開始する。
 - 呼吸の有無を確認する。
 - 頸動脈の拍動を確認する。
- 78歳の男性。安静時の強い呼吸困難のため、家族とともに救急外来を受診した。呼吸困難のため本人からは病歴の情報を十分に得ることができない。家族によると、昨日から体動時の呼吸困難を訴えていた。慢性閉塞性肺疾患のため5年前から自宅近くの診療所で在宅酸素療法(1 L/分)が導入され、来院時は、1 L/分の酸素を吸入している。意識は清明。体温36.8℃。脈拍96/分、整。血圧130/80mmHg。呼吸数28/分。SpO₂87% (鼻カニューラ1 L/分 酸素投与下)。体格はやせ型。吸気時に肥大した胸鎖乳突筋が特に目立ち、口すぼめ呼吸をし、喘鳴が著明である。動脈血ガス分析(鼻カニューラ1 L/分 酸素投与下)：pH 7.35, PaCO₂55Torr, PaO₂50Torr, HCO₃⁻30mEq/L。

初期対応で適切な酸素投与方法はどれか。

 - リザーバー付マスク15 L/分
 - リザーバー付マスク10 L/分
 - 鼻カニューラ5 L/分
 - 鼻カニューラ2 L/分
 - 鼻カニューラ0.5 L/分
- 下部尿路機能に関わる神経はどれか。2つ選べ。
 - 陰部神経
 - 骨盤神経
 - 坐骨神経
 - 大腿神経
 - 腓腹神経
- 66歳の女性。微熱および持続する咳嗽を主訴に来院した。1年前から間質性肺炎を伴う関節リウマチに対して抗TNF- α 抗体製剤とNSAIDで治療されている。他に骨粗鬆症と逆流性食道炎でカルシウム製剤、活性型ビタミンD製剤およびプロトンポンプ阻害薬を内服している。精査の結果、間質性肺炎の増悪はなく、肺結核と診断された。

中止すべき薬剤はどれか。

 - NSAID
 - カルシウム製剤
 - 抗TNF- α 抗体製剤
 - プロトンポンプ阻害薬
 - 活性型ビタミンD製剤
- 腰椎穿刺法による脳脊髄液検査を行う。成人患者への説明で誤っているのはどれか。
 - 「うつおせの姿勢で行います」
 - 「事前に血液検査を行います」
 - 「下肢に痛みが走ることがあります」
 - 「事前に眼底検査か頭部画像検査を行います」
 - 「検査後に立位で悪化する頭痛が起きることがあります」
- 腎盂腎炎の診察に有用なのはどれか。
 - 振水音の聴診
 - Traube三角の打診
 - 鼠径リンパ節の触診
 - 腹部血管雑音の聴診
 - 肋骨脊柱角の叩打診

エコー・リレー

(610回)

(南から北へ北から南へ)

祖父との思い出

延岡市 野田医院 の だ とも ほ
野 田 智 穂

私の父方の祖父、野田新は私が3歳のときに73歳で他界しました。私たち双子が生まれたころにはすでに病身であったため、思い出す祖父の姿は寝間着姿で布団から半身を起こしたものが多のですが、父母に連れられてお見舞いに行くと、いつも笑顔で出迎えてくれました。また、当時はまだ医院併用住宅が一般的で、祖父は病院の3階に住んでおり、隣接する平屋に住む私と双子の姉が庭で遊んでいると、窓から姿を見せて、「おーい、貴ちゃん、智ちゃん」と呼んで手を振ってくれたものです。

父方の祖母は我々が生まれる前に、母方の祖母は5歳のときに、早くに亡くなってしまったので、一番長く一緒に過ごせたのは母方の祖父、宮本利哉でした。ドライブに連れて行ってくれたり、クワイ狩りに連れて行ってくれたり、プールで遊ばせてくれたり、自身も仕事で忙しいにもかかわらず、よく遊んでくれました。祖父は病で倒れるまで、外来診療の他、看護学校の校長職や医師会の仕事で延岡-宮崎間を往復し、帰宅後もそのまま深夜までかかって数軒の山奥にある患者さんの家を往診して回るなど多忙な日々だったのですが、孫と遊ぶときは飄々として自由人のような雰囲気、いつも余裕のある人でした。

父母の語る祖父たちのエピソード、そして現役で一緒に仕事している父の診療の在り方には学ぶことが多いです。これから、地域に根差した医師になれるよう日々邁進したいと思っています。

[次回は、延岡市の岸 昌廣先生をお願いします]

3人の孫

川南町 川南病院 ほし の せいいちろう
星 野 誠一郎



現在、私には3人の孫がいる。長男のところに4歳の男の子と1歳の女の子、そして長女のところに5か月の男の子である。一人目の誕生は男の子でもあり、「跡取りができた」と素直に喜んだ。二人目は女の子

で、その初々しさと愛らしさに心が和んだ。三人目は近隣に住む娘の子で、出産後しばらく我が家に里帰りしてきた。産湯の時期が終わると、当然のように入浴係は爺さんである私の役目となった。私自身にも3人の子どもがいるが、当時は夜勤や当直で忙しく、新生児期にゆっくり入浴させた記憶はあまりない。それだけに今回が、これまでで一番多く一緒に入浴した経験となり、その分いっそう愛おしく感じている。おそらく入浴の手際は、婿殿よりも上手いのではないかと密かに思っている。そして孫たちが3人そろって帰省してくると、最悪の場合は3人の入浴当番となる。全員を入れ終わるころには、こちらの体がすっかりふやけてしまっている。4歳の孫はますます活発になってきた。我が家の隣には比較的広い公園があり、「ちょっと公園行ってみる？」という決め台詞でこちらを見つめてくる。手を引いて向かえば、サッカー、キャッチボール、バッティング、ぶらんこというお決まりのルーチンが始まる。いわば無限ループである。最低これを3回繰り返すはめになる。最近体力がついてきたのは、このおかげかもしれない。

このような日々を送りながら、これから孫があと何人増えるのかと楽しみにする一方で、少しばかりの不安もある。次男はまだ未婚なのである。3人が帰った後は、ほっとする反面、どこか寂しさも残る。できることなら毎日会いたい——もっとも、30分くらいで十分ではあるが。

[次回は、都城市の太田 嘉一先生をお願いします]

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第58回 職員との労使紛争の留意点について

**Q.**

毎号拝読し、勉強させていただいております。今回の事案についてご教示よろしくお願い申し上げます。当院の職員に対し、怠慢な振る舞いなどがある際に、懲罰処分を与えることがあります。しかし、最近では、不当だ、パワハラなどと反発し、裁判をちらつかせるような者もあり、今後このような事例が増えるのではないかと危惧しているところです。リスクを避けるため、懲罰に関する留意点や、最近の裁判例などありましたら、ご教示ください。

おっしゃるとおり、職員に対する懲戒処分について、「不当処分だ」「パワハラだ」と反発され、訴訟などに発展するケースを懸念される医療機関も少なくありません。特に医療現場では、人手不足や業務負担の増大もあり、私の経験上でも医療機関における職員指導の難しさが増している印象があります。

もっとも、懲戒処分は、就業規則に定めがあれば自由に行えるものではなく、法的には「客観的に合理的な理由」があり、「社会通念上相当」であることが必要とされています。実務上、問題となりやすいのは、①就業規則上の根拠が曖昧である場合、②十分な事実調査を行わずに処分した場合、③本人に弁明の機会を与えていない場合、④処分が重すぎる場合などです。例えば、勤務態度不良を理由とする処分であっても、「具体的にどのような問題行動があったのか」「過去に指導や注意を行っていたのか」「改善の機会を与えたのか」などが重視されます。単に「協調性がない」「態度が悪い」といった抽象的評価のみでは、裁判上不十分と判断されることもあります。

また、近時はパワーハラスメントとの関係も重要です。必要な指導そのものは当然許されますが、感情的叱責や人格否定的発言、長時間の執拗な叱責などは、指導の範囲を超えるものとして問題視される傾向にあります。

近時の労使紛争を巡る裁判例の傾向として、以前にも増して「書面管理」の重要性が強調されています。つまり、単なる口頭での注意ややり取りではなく、その事実が労務管理文書として記録されているか否かによって結論が左右されている事例も多く報告されています。そのため、医療機関としては、日頃から就業規則や懲戒規定を整備するとともに、問題行動については注意指導の記録を残し、可能な限り複数名で対応することが重要です。また、懲戒処分を急ぐのではなく、まずは始末書提出、書面指導など段階的対応を行うことが、紛争予防の観点からも有効と考えられます。

懲戒処分は、職場秩序維持のために必要な制度ですが、感覚的・感情的対応ではなく、「記録を残し、手順を踏む」という視点が、近時の労務管理では特に重要になっているといえるでしょう。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～4月～

令和8年3月30日～令和8年5月3日（第14週～第18週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核15例（男性7例・女性8例）：宮崎市（13例），日向（2例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症6例：中央（3例），宮崎市，高鍋，日向（各1例）保健所管内から報告があった。患者が1例，無症状病原体保有者が5例であった。年齢は0～4歳が3例，10歳代，20歳代，50歳代が各1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として水様性下痢，血便がみられた。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，性別は男性であった。主な症状として腹痛，下痢，嘔吐，食欲不振，出血傾向があった。

○つつが虫病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，性別は女性であった。主な症状として発熱，刺し口，発疹がみられた。

○日本紅斑熱4例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代，80歳代が各2例で，性別は男性3例，女性1例であった。主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹，DIC，肝機能異常等がみられた。

○レジオネラ症2例：宮崎市，日向保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と70歳代で，性別は男性1例，女性1例であった。病型は肺炎型が1例，ポンティアック熱型が1例であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，下痢，肺炎がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として大腸粘膜異常所見等がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：宮崎市，延岡保健所管内から報告があった。年齢はいずれも80歳代であった。主な症状としてショック，肝不全，腎不全，DIC，軟部組織炎，中枢神経症状等がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，咳，嘔吐，肺炎，菌血症がみられた。

○水痘（入院例）1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳であった。病型は臨床診断例で，主な症状として発熱，発疹等がみられた。

○梅毒5例（男性3例・女性2例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バ

表1 結核 病型別報告数

肺結核	10
その他の結核 （結核性胸膜炎）	1
無症状病原体保有者	4

表2 結核 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	1
10歳代	3
20歳代	1
40歳代	2
50歳代	2
60歳代	2
80歳代	3

表3 腸管出血性大腸菌感染症
原因菌別報告数（例）

原因菌	報告数
O111（VT1）	4
O103（VT1）	1
O血清群不明（VT1）	1

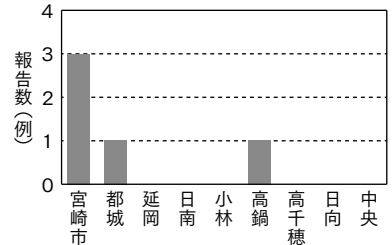


図1 梅毒 保健所別報告数（例）

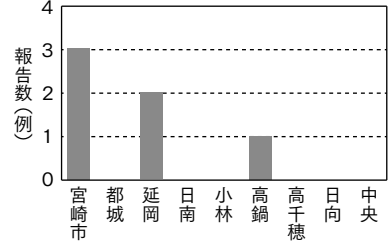


図2 百日咳 保健所別報告数（例）

表4 梅毒 病型別報告数（例）

早期顕症梅毒Ⅰ期	2
早期顕症梅毒Ⅱ期	1
無症状病原体保有者	2

表5 梅毒 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
20歳代	3
30歳代	1
50歳代	1

表6 百日咳 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	1
10歳代	3
60歳代	1

- ラ疹，眼症状がみられた。
- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として真菌血症がみられた。
- 百日咳6例：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，白血球数増多，肺炎がみられた。ワクチン接種歴は有りが2例，不明が4例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,816人（定点あたり119.7）で，前月の115%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の93%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は5,223人（定点あたり186.5）で，前月の約113%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，水痘，手足口病及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患はインフルエンザ，咽頭結膜熱であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，水痘，手足口病及びヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は270人（18.0）で前月及び例年の約1.4倍であった。中央（30.0），高鍋（27.0），宮崎市（26.4）保健所からの報告が多く，5歳から7歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は458人（30.5）で前月の約25.4倍，例年の約2.5倍であった。高鍋（71.0），宮崎市（46.4），中央（36.0）保健所からの報告が多く，6月から2歳が全体の約9割を占めた。

前月との比較

	2026年4月		2026年3月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	119	4.3	882	31.5	
新型コロナウイルス※1	53	1.9	49	1.8	
RSウイルス感染症	103	6.9	50	3.3	★
咽頭結膜熱	40	2.7	75	5.0	
溶レン菌咽頭炎※2	270	18.0	196	13.1	★
感染性胃腸炎	554	36.9	564	37.6	
水痘	58	3.9	37	2.5	★
手足口病	458	30.5	18	1.2	★
伝染性紅斑	25	1.7	24	1.6	
突発性発しん	31	2.1	26	1.7	
ヘルパンギーナ	63	4.2	0	0.0	★
流行性耳下腺炎	2	0.1	2	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	36	6.0	24	4.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	4	0.6	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	1	0.1	
急性呼吸器感染症	5,223	186.5	4,638	165.6	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い
 ※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	2
		山形系統	0
新型コロナウイルス			2
RSウイルス	A型		0
	B型		1
パラインフルエンザウイルス	1型		3
	2型		1
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			10
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			36
受付検体数			55

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	EPEC (OUT:HUT)	1
	Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	1
	EHEC (O111:HNM, VT1)	4
ウイルス	Parvovirus B19	1
	Rhinovirus	1
	Human herpes virus 6	1
	Influenza virus A H3	1
	Influenza virus B (Victoria Lineage)	9

■月報告対象疾患の発生動向〈2026年4月〉

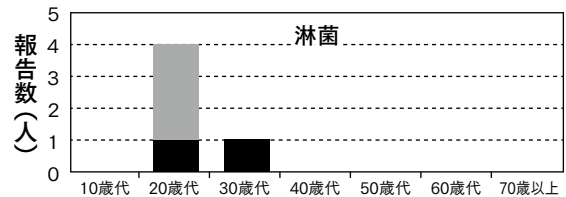
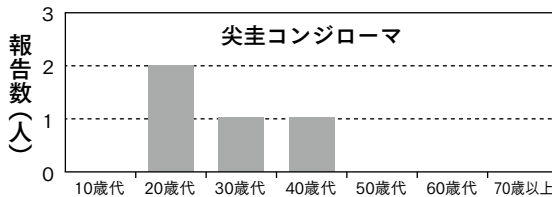
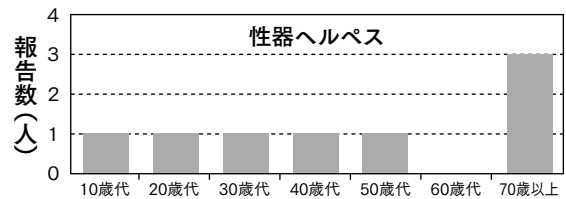
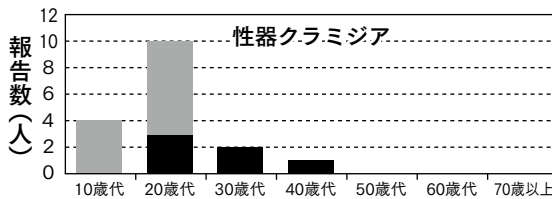
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年4月（2.6）と同率であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数17人（1.3）で、前月の約0.9倍、昨年4月の約0.8倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性6人・女性11人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月と同率で、昨年4月の約1.6倍であった。（女性8人）
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月の約1.3倍、昨年4月の約2.0倍であった。（女性4人）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月及び昨年4月と同率であった。（男性2人・女性3人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人（2.0）で、前月比67%と減少した。また、昨年4月（2.9）の約0.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数14人（2.0）で、前月及び昨年4月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症※：報告なし。（4月1日から4月5日までの報告）
※令和8年4月6日から、「薬剤耐性緑膿菌感染症」を全数把握対象疾患とし、あわせて名称が「多剤耐性緑膿菌感染症」に変更となりました。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

【日本赤十字社】

6月14日は、「世界献血者デー」です。献血に行きましょう!!

毎年6月14日は、ABO式血液型を発見した病理学者カール・ラントシュタイナーの誕生日であることから、世界保健機関（WHO）によって「世界献血者デー」と定められています。この日は安全な血液製剤の必要性を啓発し、自発的かつ無償の献血にご協力いただいている方々に感謝する日とされています。皆様のさらなる献血のご協力をお願いいたします。

献血キャンペーン実施中!!

【献血バス】

事前予約 + 献血でプレゼント!

- 期間: 5月9日(土)から2か月間限定!
- 場所: 献血バスのみ
- 対象者: 「事前予約 + 400mL献血」にご協力いただいた方*



カゴメ 野菜生活 100

※1 いずれかおひとつだけ選んでいただきます。
 ※2 在庫状況に応じて、別の記念品になる場合がございます。

【献血ルーム「カリーノ」】

献血ルーム「カリーノ」

午後の献血
 キャンペーン
 6/1~6/30
 ※8/8~14の期間は対象外

サイコロ振って
 景品get!

対象期間の午後に献血にご協力いただいた方も対象に...

「えらべる記念品」+キャンペーン景品
 もらって嬉しい記念品or甘〜いおやつ
 どちらかがもらえちゃう!

6/14は世界献血者デー
大抽選会 をやっちゃいます!
 6/8~6/14
 対象期間に献血にご協力いただいた方全員
 を対象に実施します。

←献血ルームの詳細はこちら...
 ←Instagramのフォローもお待ちしております

宮崎県赤十字血液センター
 公式LINE・インスタ



(献血バス) 宮崎県赤十字血液センター献血推進課 TEL: 0985-50-1800
 (献血ルーム) 「カリーノ」 TEL: 0985-23-0007

宮崎大学医学部だより

内科学講座

- 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 -

しもだ かずや
下田 和哉 教授

内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科は、2021年4月の内科学講座再編時に誕生しました。下田和哉教授，山口秀樹准教授の下，45名の医局員（大学内19名，関連病院出向者24名，国内留学者・その他2

名）が在籍しております。

診療面では，血液内科は白血病，悪性リンパ腫，骨髄腫などの造血器悪性腫瘍を主な対象疾患としています。これらに対する治療は，県内の施設と宮崎へマトロジーグループ（MHG）を形成し，各疾患に関する密な情報交換を行いながら治療を行っています。また，2025年6月までに合計208例の同種造血幹細胞移植を行いました。これにより，治療のために県外への転院を余儀なくされていた患者さん方の治療が，県内で完結できるようになりました。一方，新たな作用機序の治療薬も次々に登場しており，急性リンパ性白血病・びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫・濾胞性リンパ腫・多発性骨髄腫で適応がある方に対して二重特異抗体製剤を積極的に使用しています。更に，大細胞型B細胞リンパ腫に対するキメラ抗原受容体（CAR）T細胞製剤による治療を2024年から開始し，2025年6月現在で4症例に施行しています。

内分泌・代謝・糖尿病内科は糖尿病，脂質代謝異常や肥満症といった代謝性疾患，および内分泌疾患を主な対象としています。2型糖尿病を初めとした種々のタイプの糖尿病，緊急症としての糖尿病ケトアシドーシス，周術期の管理

などの診療を他科とも連携しながら行っています。当科では糖尿病専門医，管理栄養士，薬剤師，看護師など多職種からなるチーム医療で患者さんをサポートしております。また，開業医の先生方との病診連携も積極的に進めており，教育・精査目的の入院も随時お引き受けしております。肥満症に対するGLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬が新規に保険診療として使用可能となりましたが，厚生労働省からの最適使用推進ガイドラインに則って厳密な適応判定や使用を開始しております。内分泌疾患については甲状腺，視床下部・下垂体，副腎などの内分泌異常および内分泌腫瘍の診療を行っています。近年は内分泌腫瘍に対するソマトスタチンアナログや分子標的薬，活動性甲状腺眼症に対する新薬も使用可能となり，治療の選択肢が増えました。

当講座の主な県内関連病院としては，県立延岡病院，延岡市医師会病院，千代田病院，県立宮崎病院，古賀総合病院，野崎病院，愛泉会日南病院，都城医療センター，宮永病院，池井病院，迫田病院，日南市立中部病院，宮崎市立田野病院などがあり，医局員が日々，地域医療に貢献すべく努力しております。また，医師教育，学生教育の場としても重要な役割を果たしていただいております。

研究においては，宮崎県に多い成人T細胞白血病・リンパ腫（ATLL）の病態解明と最適治療法の開発，真性多血症・本態性血小板血症・骨髄線維症などの病態解明と新規治療法の開発，甲状腺癌の遺伝子変異と予後や治療効果に対する影響の解明，インクレチン関連薬の多面的効果の解明などを行い，宮崎からのエビデンス発信に注力しています。

医師会の先生方におかれましては，今後ともご支援，ご指導を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

（医局長 上野浩晶）

部会だより

学校医部会



かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会学校医部会は501名の会員からなり、県医師会の河野会長が部会長を務めています。役員は各郡市医師会から選出された理事を中心に構成されています。

令和7年度の主な事業として、5月30日に学校医部会理事・評議員会【現地+Web会議】を開催しました。8月21日には学校医部会総会・医学会【現地+Web会議】(県医15名、接続数90箇所)を開催し、2名の先生に講演をしていただきました。

学校医部会総会・医学会

講演1

「児童精神科クリニックにおける自殺予防と不登校支援～教育・行政機関との連携とフリースクールとしてのデイケアの取り組み～」

講師 医療法人ハートピア みよしクリニック
院長 三好 良英 先生

講演2

「子どもの心の問題に対する学校・かかりつけ医での対応」

講師 福岡大学医学部 小児科学講座
主任教授 永光 信一郎 先生

また、児童生徒の健康診断、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器検診、精神保健などのさ

まざまな活動を行っています。

九州関連では、7月26日・27日の両日、佐賀県において「守ろう～子どもたちの未来を、夢を～」をメインテーマに九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事が開催され、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の部門ごとの教育講演、眼科・耳鼻科の各分科会が行われました。

7月に佐賀県、11月にWebにおいて開催された九州学校検診協議会専門委員会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の4つの部門に分かれ協議を行い、検診内容や集計の標準化に取り組みました。

全国関連では、4月13日に日医学校保健講習会があり、役員が参加しました。全国学校保健・学校医大会が11月22日にメインテーマ「子どもたちの健康を守る～生まれてから成人まで～」で神奈川県担当にて開催され、役員が参加しました。また令和7年度は以前から県へ要望しておりました学校心臓検診委託料の増額がようやく認められました。学校医報酬に関しては令和7年10月27日に県教育長に対し県立学校医などの報酬基準額に関する三師会要望を行っております。日本医師会における学校保健委員会においても、学校医不足、学校医報酬が十分でないこと、更に学校医の担い手の少ない眼科・耳鼻科における重点的健診のあり方、脱衣が必要とされる脊柱・側弯検診の問題など多くの課題を検討しています。

(理事 高木純一)

宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会

と き 令和8年4月25日(土)

ところ シーガイアコンベンションセンター

本県で臨床研修を始める研修医を歓迎し、また、研修医同士の連帯感を醸成することを目的に本年度も開催した。

県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ委員長で、宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センター長の小松教授の司会により開会し、医師会による研修医のための説明会、県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループによる教育セッションの後、臨床研修病院や協力施設の指導医などを交えた祝賀会を行った。出席研修医は68名（1年次62名・2年次6名）であった。

研修医のための説明会～医師会について～

市来常任理事の司会により開会し、赤須・吉見常任理事が「医師会とは」、落合常任理事が「医師会役員を経験して」、金丸副会長が「医師会入会のご案内」について説明した。

なお、本会から、記念品としてペンライトを贈呈した。

臨床研修スタートアップ・教育セッション

小松教授の進行のもと、現在の臨床研修制度を経験した若手医師および指導経験豊富な医師6名に、「2年間の臨床研修を充実させるための心構えとコツ」というテーマで、下記プログラムに沿ってご講演いただいた。

1 インTRODakション

宮崎大学医学部附属病院

県臨床研修・専門研修運営協議会WG委員長

小松 弘幸 先生

2 “できレジ”を目指そう！

都農町国民健康保険病院 坂本 遊 先生

3 救急サバイバル

宮崎大学医学部附属病院 田中 達也 先生

4 研修中の勉強法

県立宮崎病院 早川 学 先生

5 研修医Tips集

県立延岡病院 米良 大雅 先生

6 研究のススメ

宮崎大学医学部附属病院 酒井 克也 先生

7 ストレスマネジメント

宮崎生協病院 松田 隆志 先生

新研修医祝賀会

本県で研修を始める1年次研修医を歓迎する祝賀会で、県から河野知事をはじめ、重黒木病院局長・小牧福祉保健部長、宮崎大学から鮫島学長、片岡理事・副学長、教授・医局長・医療人育成推進センターおよび卒後臨床研修センターのスタッフ、県内の基幹型・協力型臨床研修病院、協力施設の指導医など関係者および2年次研修医ら合計151名が出席した。

市来常任理事の司会・進行のもと、初めに主催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行い、その後、河野知事および鮫島宮崎大学長から研修医へ激励の言葉が送られた。次いで、新研修医を代表して宮崎大学医学部附属病院の末安諒河先生がお礼と研修への意気込みを述べ、眞柴県立宮崎病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1年次研修医に一人ひとり自己紹介を兼ねて抱負を述べていただき、盛会裏に終了した。



令和8年度 1年次研修医 (64名)

宮崎大学医学部附属病院	地下 勇矢	皆川 滉平	田井 遥	県立日南病院
石黒真莉奈	末安 諒河	山内 陸	永江 泰士	細川祐司朗
井上 まい	高橋 伶奈	県立宮崎病院	福別府 翔	鍋倉さやか
卜部 美律	玉田 達大	池田 知世	星崎 勇人	古賀総合病院
太田 有咲	塚本 颯太	伊東 宏人	堀口 玲央	桑原 雄夢
大山 琳	出石 圭吾	上村萌々香	宮島 航大	和田 将晴
甲斐 弘将	外山 晴駿	榎田 万葉	山本 知佳	宮崎生協病院
梶原 冴香	中村友里笑	大村 優葵	梅木 康多	土田陽菜子
香取 龍雲	春田 望智	甲斐 愛理	瀆砂 豪	中村 陸人
金森 颯太	東 亮太	河野 桜子	上山 大河	宮崎市郡医師会病院
金城 彩音	日高 玲奈	川畑 隆士	県立延岡病院	梶島 佑太
合原 圭祐	藤澤 詩音	栗原 知大	黒木 陽斗	
児玉 紘平	堀内 音々	古賀 旭陽	笹山 大輔	
財津 祐亮	増田 蓮	小玉 春樹	徳田 安美	
境 笙太郎	松元 太志	杉尾 有紀	松元 亮弥	

お知らせ

女性医師の皆様へ

無料貸出



宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツの貸出をしています



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に
過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、
パンツの無料貸出を行っています。妊娠後期の
短い期間の着用となりますので、ぜひ貸出をご
利用ください。

医師会員でない方でもお申込みいただけます
ので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは本会ホームページを
ご覧ください。



宮崎県医師会HP

お申込み・お問い合わせ先
宮崎県医師会 地域医療課
TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550
Mail mma-work-in-life@miyazaki.med.or.jp

第20回男女共同参画フォーラム

と き 令和8年4月4日(土)

ところ ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城

第20回男女共同参画フォーラムが、沖縄県医師会の担当で「世代・ジェンダーをこえてちむどんどん」をメインテーマとして開催された。稲田副会長（沖縄県医）による開会后、松本会長（日医）、田名会長（沖縄県医）、玉城沖縄県知事より挨拶があり、講演に入った。

基調講演

1 DEIB推進とこれからの大学

国立大学法人琉球大学 学長 喜納 育江

琉球大学では、女性研究者の少なさが問題視されており、大学におけるダイバーシティ推進、男女共同参画の取組みを進めている。国の助成金を活用し、女性研究者の研究力向上を支援する体制を構築するとともに、上位職（教授・役員）に進むほど女性の割合が低下している現状をふまえ、女性の上位職比率の向上に向け、令和12年までに大学執行部の50%を女性とする目標を掲げている。

また、近年では、DEI（多様性・公正性・包摂性）に加え、Belonging（帰属意識）を含むDEIBの考え方が重視されている。一人ひとりが「働きがい」を感じられる職場の創出が、今後の組織における課題である。

2 沖縄の経済と女性力

沖縄経済同友会 代表幹事 瀧辺 美紀

沖縄県の令和7年度の入域観光客数は1,075万人と過去最多を記録し、観光収入も1兆円超え、観光産業が大きく発展している。一方で、所得格差の大きさや労働生産性の低さ、子どもの貧困問題など、深刻な状況にある。こうした中、稼ぐ力の向上、DXの推進、女性活躍などが将来に向けた大きな課題とされる。



今後は、沖縄県の地理的特性を生かし、那覇空港を世界最高水準の国際リゾート・ビジネス拠点とすることや、豊かで美しい自然環境、固有の歴史・文化といった独自性を活用し、経済の発展を通じてこれらの課題解消につなげたい。更に、女性の活躍は重要な戦略になるため、女性が活躍できる場を創出し、ジェンダー平等を実現していくことが重要である。

報 告

1 日本医師会男女共同参画委員会

日本医師会男女共同参画委員会 委員長

小泉ひろみ

今期（令和6・7年度）は、会長諮問「男女ともに活躍できる医療界を目指して」に対する答申作成、男女共同参画フォーラムへの意見具申、各種調査を主な活動としている。各種調査では、男女共同参画についての男性医師の意識調査を含む4つの調査を実施しており、いずれも経年調査として、その結果分析を行っている。5月には、① 女性医師支援の継続、② 男性も働きやすい勤務環境の整備、③ 医師不足の制度や不具合など、構造的な問題の解決について答申を提出し、ホームページにも掲載予定である。

2 日本医師会ドクターサポートセンター

日本医師会 常任理事 松岡かおり

医師偏在是正に向けた広域マッチング事業は、昨年11月に女性医師バンクから日本医師会ドクターバンクへ名称変更し、チラシ配布などの広報を行った結果、新規の求職登録数および施設登録数が大幅に増加した。一方で、成立件数の増加がこれに追いついておらず、今後の課題となっている。現在、地域ドクターバンクとの業務提携は12団体であり、引き続き業務提携に向けた協力をお願いしたい。

女性医師支援センター事業は、再就業講習会事業、実態調査、女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック会議などに取り組んでいる。「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」は、ホームページからダウンロード可能であるため、講習会などでご活用いただきたい。

シンポジウム

1 これからの自分の働き方

～世代別の価値観と課題～

「大切にしてきたこと（あくまで、わたし

流)」と題して、沖縄県立北部病院長 佐々木尚美先生、「世代別の価値観と課題」と題して、那覇市立病院 産婦人科部長 池宮城梢先生、「女性医師のキャリア形成とその課題～自身のキャリアを振り返って」と題して、琉球大学病院 病理診断科 助教 玉城智子先生、「“働きたい”を叶える社会を目指して」と題して、中部徳洲会病院 研修医 志田原睦先生によるシンポジスト講演およびディスカッションが行われた。

2 男性育休の実際と課題について

「男性医師の育休経験から考える働き方改革と働きやすい職場」と題して、琉球大学病院 産婦人科 助教 平良祐介先生、「自身の育休取得体験」と題して、那覇市立病院 脳神経外科 医長 下地亮先生、「男性育休休暇－妻の視点から－」と題して、南部クリニック 医師 西由希子先生によるシンポジスト講演およびディスカッションが行われた。

出席者－金丸副会長，荒木・嶋本常任理事，
上山理事，福田主事

5月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年5月1日～5月23日

1 掬えば手には	瀬 尾 まいこ	講談社文庫
2 イン・ザ・メガチャーチ	朝 井 リョウ	日本経済新聞出版
3 人は話し方が9割	永 松 茂 久	すばる舎
4 それ犯罪かもしれない凶鑑	小 島 洋 祐	金の星社
5 月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった	川 代 紗 生	サンマーク出版
6 ユダヤ人の歴史	鶴 見 太 郎	中公新書
7 リカバリー・カバヒコ	青 山 美智子	光文社文庫
8 熟 柿	佐 藤 正 午	角川書店
9 憤怒の人	杉 山 響 子	小学館
10 コンビニ人間	村 田 沙耶香	文春文庫

九州医師会連合会第428回常任委員会

と き 令和8年4月11日(土)

ところ 福岡県医師会館

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（福岡県蓮澤会長）

3 報 告

1) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員について（福岡）

選挙管理委員は夏越祥次先生（鹿児島県）、松永高政先生（佐賀県）、予備選挙管理委員は増田吉彦先生（鹿児島県）、山元謙太郎先生（佐賀県）を選出した旨の報告が行われた。

2) 故 池田秀夫先生（元佐賀県医師会会長、元日本医師会理事・代議員会議長・副議長）への弔意について（福岡）

3月25日の元佐賀県医師会会長池田秀夫先生の訃報に対し、九医連から弔電・供花・香典を送り弔意を表した旨の報告が行われ、佐賀県志田会長から弔意に対するお礼の言葉が述べられた。

3) 故 稲倉正孝先生（元宮崎県医師会会長、元日本医師会理事）への弔意について（福岡）

4月6日の前宮崎県医師会会長稲倉正孝先生の訃報に対し、九医連から弔電・供花・香典を送り弔意を表した旨の報告が行われ、本県河野会長から弔意に対するお礼の言葉が述べられた。

4 協 議

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議 及び九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会（5月23日(土)福岡市）について（福岡）

九州ブロックから推薦する次期日医役員

および裁定委員の候補者、議事運営委員、財務委員などを協議する会議で、5月23日に福岡市のグランドハイアット福岡で開催することが承認された。

なお、九医連の覚書や慣例に従い、日本医師会理事2名は沖縄と鹿児島、監事1名は鹿児島、裁定委員は宮崎、議事運営委員1名は大分、財務委員2名は福岡と佐賀から候補者を選出することとなった。

2) 九州ブロック日医代議員（含・次期）連絡会議（5月23日(土)福岡市）について（福岡）

5月23日の次期代議員合同会議に引き続きグランドハイアット福岡で開催することが承認された。なお日本医師会の委員会報告は、病院委員会は牧角寛郎先生（鹿児島県）、地域医療対策委員会は田名毅先生（沖縄県）が行う。

3) 九州ブロック日医代議員連絡会議（6月26日(金)、27日(土)、28日(日)東京都・日医）について（福岡）

日本医師会の定例代議員会および臨時代議員会の開催に合わせ、6月26日は第一ホテル東京、27日および28日は日本医師会館の九州ブロック控室で連絡会議を開催することが承認された。

4) 入国者収容所等視察委員会委員の推薦に係る申し合わせについて（福岡）

日本医師会を經由して出入国在留管理庁から依頼がある委員について、現委員から辞任の申出があった場合には、財務委員選出方法に倣い、福岡→佐賀→長崎→熊本→大分→宮崎→鹿児島→沖縄の順番で選出す

ることが承認された。なお、これまで福岡と沖縄から委員推薦を行っているため、次は佐賀が推薦することとなった。

5) 九州医師会連合会第429回常任委員会(7月11日(土)鹿児島市)の開催について
(鹿児島)

7月から鹿児島が九医連の担当県となることから、7月11日にマナーハウス島津重富荘で九医連常任委員会等諸会議、シェラトン鹿児島で懇親会を開催することが承認された。

6) 令和8年度日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議(10月24日(土)別府市)の開催について(大分)
大分の担当で、10月24日に別府市の杉乃井ホテルで開催することが承認された。

7) 令和8年度補正予算による医療機関への更なる支援に関する要望について(長崎)
すでに令和8年度の診療報酬改定3.09%(初年度2.41%, 次年度3.77%)が決定しているが、まだまだ不十分なことから、年度内の補正予算で強力な支援を要請してはと問題提起があり、7月の九医連常任委員会で再協議後、日本医師会に要望することとなった。

5 その他

長崎県森崎会長、福岡県蓮澤会長が今期をもって勇退する旨の報告が行われた。

6 閉会

出席者-河野会長、竹崎事務局長

お知らせ

日本医師会 スマホ・パソコンで簡単手続き

医師年金

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までをお願いします。)

医師年金HP画面

アニメーションで仕組みを確認



シミュレーションで受給額や保険料を試算



一括払専用加入申込書プリントアウトで
申込み(保険料のお支払いは後日ご案内します)



20220401S23

お問い合わせ先

日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直通)(平日9時半~17時)

日医インターネットニュースから

■12職種の養成・確保策を議論

— 検討会が初会合 —

人口減少に伴い、地域の担い手不足が懸念される医療関係職種の養成・確保について議論する厚生労働省の検討会が5月7日、初会合を開いた。看護師を含む12職種に共通の課題を議論の対象とする。年内をめどに議論を取りまとめ、社会保障審議会・医療部会に報告する予定だ。

検討会の名称は「医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会」。議論の対象となる職種は以下の通り。▽看護師▽理学療法士▽作業療法士▽言語聴覚士▽診療放射線技師▽臨床検査技師▽臨床工学技士▽視能訓練士▽義肢装具士▽歯科衛生士▽歯科技工士▽救急救命士。座長には、国土典宏・国立健康危機管理研究機構理事長を選出した。

初会合で森光敬子医政局長は、医療関係職種を養成する多くの施設で充足率を満たさない状況が続いていることに触れ、養成校や大学の在り方が「大きな課題になっている」と述べた。

●地域での養成体制も課題に

厚労省は検討会の論点として、以下を挙げた。▽養成体制の整備▽養成から現場へのつなぎ支援▽働く環境の整備▽地域における推進体制の整備—。このうち「地域における推進体制の整備」については、「各地域で医療関係職種の需給状況や養成・確保の課題を把握・共有し、必要な取り組みを計画的に進める枠組み」についても議論する構えだ。

神野正博構成員（全日本病院協会会長）は、地域での養成体制に言及した。県庁所在地やその周辺以外では「養成校が地域の医療従事者確保に重要な位置を占める」と指摘し、遠隔授業やサテライト校を中小都市の養成校存続の仕組みとして検討するよう求めた。

各職種の地域別、年齢別など詳細なデータを求める意見も相次いだ。野口晴子構成員（早稲田大政治経済学術院教授）は、「どの地域でど

の職種がどの程度不足するかが非常に重要」と述べ、「医療関係職種全体を対象としたデータ整備をぜひ進めていただきたい」と要望した。西田裕介構成員（国際医療福祉大成田保健医療学部部長）や平山春樹構成員（連合総合政策推進局生活福祉局長）も各職種の需給などに関するデータの充実を訴えた。

構成員から「医療関係職種の処遇改善も検討会で議論するのか」と質問されたのに対し、森光局長はこの場ではなく個別の会議体で議論すべきものとの見解を示した。

（令和8年5月12日）

■アムシェプリ保険適用「極めて大きい」

— 松本会長 —

松本会長は5月13日の定例会見で、世界初となるiPS細胞由来の再生・細胞医薬品「アムシェプリ」の保険適用が、同日の中医協で了承されたことを受け、「iPS細胞を利用した治療方法が、実際に患者へ届く道筋がついたということで、日本の医療界にとっても世界の医療界にとっても極めて大きな出来事だ」とコメントした。「日本のみならず、世界中の患者の救いにつながれば良いと思う」と述べた。

一方、「今までにない新たな技術を利用した治療法なので、患者への説明だったり、予定されている製造販売後の調査などにおいて、しっかりとフォローしていくことが重要だ」と指摘。国として、安全性の確認と有効性の推定をしっかりと行うことの必要性を強調した。

（令和8年5月15日）

■2050年の医師・医師会のあるべき姿提言

— 日医・ビジョン委が答申 —

日医は5月13日の定例会見で、第7次未来医師会ビジョン委員会（委員長＝佐竹真一・岐阜県医師会常務理事）が取りまとめた答申を発表した。2050年における医師会のあるべき姿と

して、医療資源の最適配分やAIの倫理的監視を行う役割を担うことなどを提言した。笹本洋一常任理事が説明した。

さらに、有事には行政と連携する指揮システムのトップとしての機能を担うこと、若手医師の組織帰属性向上のため「民間医局化」を推進することなども盛り込んだ。医師会の役割や責務を、国民の理解と共感の上に成り立たせるため、親しみやすく双方向性のある広報戦略を展開し、国民の信頼に基づく医療共同体となることを目指す重要性を指摘している。

50年の医師を取り巻く環境については、「AIやDX化により、診断・治療の精度、効率性が飛躍的に向上する一方で、AIによる診断などは不確実性が伴う」と予想。そうした中、「医師は、『心のコンダクター（指揮者）』として患者に寄り添い、患者の死生観などに合った治療方針を決定する」ことをあるべき姿の一つに挙げた。また、機能的定年制や成果連動型報酬の導入の検討も提言した。

同委員会は、主に30～40代の若手医師が未来の医療や医師会活動について自由闊達に議論。答申も、日医の立場にとらわれることなく、自由な発想の下で取りまとめた。

(令和8年5月19日)

■備蓄放出分医療用手袋、購入受付開始 — 厚労省が購入方法公表 —

厚生労働省は5月14日、中東情勢の悪化に伴い確保が困難になっている医療用手袋について、国が放出する備蓄手袋の購入方法などを公表した。購入を希望する医療機関は、「G-MIS（医療機関等情報支援システム）」上で要請を行った後、販売業者であるアスクルのサイトか

ら購入手続きを行う必要がある。要請受け付けの第1弾は18日(月)の午前9時に開始予定。

医療機関は、まずG-MISから、▽医療用手袋の在庫量▽1週間の購入見込み量▽1週間の想定消費量—に関する調査に回答した上で、購入要請を行う。回答を踏まえ、各都道府県などが購入条件を満たしているかを判断する。

具体的な条件は「①回答時の在庫量<(②今後1週間当たりの想定消費量—③今後1週間に購入できる見込み量)×4」としている。例えば、①在庫量が2000枚②想定消費量が1000枚③購入見込み量が400枚の場合、(②-③)×4=2400枚で在庫量の2000枚を上回るため、条件を満たせる。

条件を満たしていた場合、回答した「1週間の想定消費量」の2倍の数を、1000枚単位で切り上げて購入することができる。

●アスクルのサイトで情報登録が必要

G-MISで要請しただけでは購入できない点に注意が必要。アスクルの購入サイトから施設名や住所、医療機関コードなどの情報を登録する必要がある。

その後、アスクルから届くメールから手続きすることで、購入が可能となる。仮に購入条件を満たしていない場合は都道府県から個別に連絡がある。

現時点の要請受け付けスケジュールは次の通り。▽第1弾=18日(月)午前9時～20日(水)午後5時▽第2弾=20日(水)午後5時～27日(水)午後5時▽第3弾=27日(水)午後5時～6月3日(水)午後5時—。これ以降も毎週水曜午後5時に要請を締め切るスケジュールで受け付けを行う。

医療機関に手袋が届くのは最速で5月中の予定。

(令和8年5月19日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

保健事業のご案内

4月下旬に組合員の皆様へ保健事業に関する申請書一式を送付しております。実施期間は下記のとおりですので、この期間に実施していただきますようお願いいたします。また、各種申請様式は当組合Webサイトからもダウンロード可能です。

なお、本年度より「脳ドック等検査」および「肺炎球菌ワクチン接種」に対する組合からの補助は廃止となりました。申請の際にはご留意くださいますようお願いいたします。

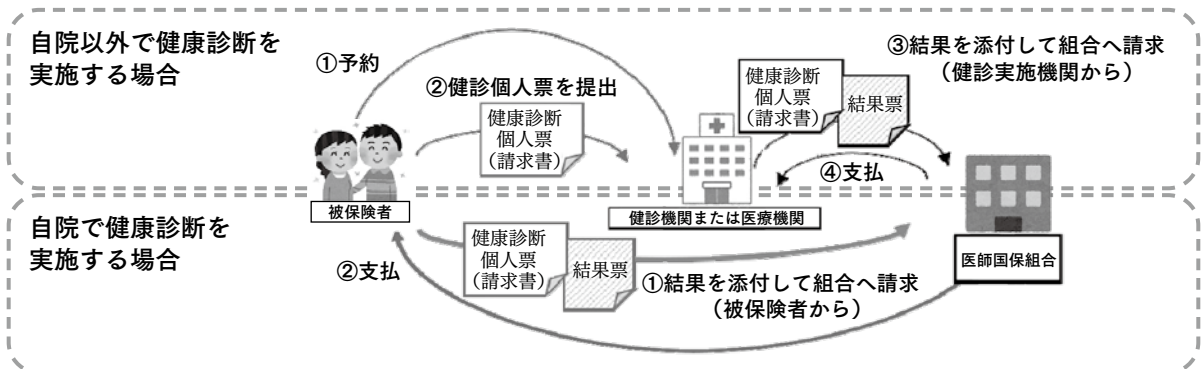
実施期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日（年1回）（※ただしインフルエンザは令和8年10月～）
請求期限 令和9年5月14日（必着）

1 健康診断（特定健診含む）※検査項目は、「健康診断個人票」に記載のとおりです（窓口負担なし）。

対 象 者	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ・上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方 														
実施機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・健診機関または医療機関（自院で実施しても請求可） 														
	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜日の集団健診（当組合の貸切枠・先着順） 宮崎市郡医師会病院健診センターで実施しています。（午前中） 予約はWebでお申込みいただくか、当組合へお電話ください。 （TEL0985-22-6588） ※平日の予約は、直接健診センターへお願いします。（TEL0985-77-9108） <p>定員各30名 ※子宮頸がん検診および大腸内視鏡検査は実施不可（平日のみ実施）</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>令和8年10月18日（第3日曜日）</td> <td rowspan="7"> 日曜日健診のオプション検査 （人数制限あり/予約先着順） <ul style="list-style-type: none"> ・胃内視鏡検査 ・低線量ヘリカルCT肺がん検診 ・乳がん検診（マンモグラフィ検査） </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11月15日（第3日曜日）</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>12月13日（第2日曜日）</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和9年1月17日（第3日曜日）</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>2月14日（第2日曜日）</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>3月7日（第1日曜日）</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>3月28日（第4日曜日）</td> </tr> </table>	第1回	令和8年10月18日（第3日曜日）	日曜日健診のオプション検査 （人数制限あり/予約先着順） <ul style="list-style-type: none"> ・胃内視鏡検査 ・低線量ヘリカルCT肺がん検診 ・乳がん検診（マンモグラフィ検査） 	第2回	11月15日（第3日曜日）	第3回	12月13日（第2日曜日）	第4回	令和9年1月17日（第3日曜日）	第5回	2月14日（第2日曜日）	第6回	3月7日（第1日曜日）	第7回
第1回	令和8年10月18日（第3日曜日）	日曜日健診のオプション検査 （人数制限あり/予約先着順） <ul style="list-style-type: none"> ・胃内視鏡検査 ・低線量ヘリカルCT肺がん検診 ・乳がん検診（マンモグラフィ検査） 													
第2回	11月15日（第3日曜日）														
第3回	12月13日（第2日曜日）														
第4回	令和9年1月17日（第3日曜日）														
第5回	2月14日（第2日曜日）														
第6回	3月7日（第1日曜日）														
第7回	3月28日（第4日曜日）														



【日曜日健診申込フォーム】



※特定健診・特定保健指導について

当組合へ提出された健康診断結果の中から特定健診の必須項目に該当する検査結果を抽出し、特定健診の実施に代えております。また、特定健診結果に基づき特定保健指導の対象者を選定し、対象となられた方には「特定保健指導のご案内及び利用券」を送付します。利用券が届いた方は、案内に従って特定保健指導を受けてください。

2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	・組合員・高齢組合員およびその配偶者 ・上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方
補助金額	・胃内視鏡検査 15,160円/人 ・大腸内視鏡検査 22,500円/人 ※1人1回、上記金額を上限として実費を補助

3 低線量ヘリカルCT肺がん検診（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	当組合の委託医療機関 ※詳細はお手元の受診券兼請求書の裏面をご確認いただくか、当組合Webサイトをご参照ください。
受診方法	医療機関に予約のうえ、受診。 ※検診当日は、受診券兼請求書を医療機関へご提出ください。

4 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助

対 象 者	・女性組合員全員 ・上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる女性
実施機関	下記の実施機関にて、健康診断のオプションとして実施した場合のみ補助対象となります。 ・宮崎市郡医師会病院健診センター（TEL0985-77-9108）→月～金曜日実施 ・都城健康サービスセンター（TEL0986-36-8700）→火・木・金曜日実施
補助金額	自己負担額（1,000円/人）を除いた額

5 歯科健康診査（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員歯科医院 ※予約時に県歯科医師会の会員であるかをご確認ください。
健診内容	下記のいずれかのコースを選択（健診のみ実施も可） ・Aコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング ・Bコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング＋フッ素塗布
受診方法	申込書を組合宛にFAXまたはメールで送付→組合から対象者へ無料券などを人数分送付→対象者がご自身で実施機関に予約し受診

6 インフルエンザワクチン接種の補助（接種期間：令和8年10月1日～令和9年3月31日）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
補助金額	2,000円/人（高齢組合員は1,000円/人） ※年度内に1名につき1回の補助です。 ※接種済証明または領収書の提出が必要です。なお、領収書をご提出いただいた場合は、2,000円を上限として実費を補助します。

詳細については、Webサイトをご確認いただくか、当組合までお問い合わせください。

宮崎県医師国民健康保険組合（県医師会館内4階）
TEL 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



【当組合Webサイト】

公 示

宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

【任期】

- ① 令和8年5月1日～令和10年4月30日まで
- ② 令和8年6月20日の宮崎県医師会定例代議員会終結後～令和10年6月の定例代議員会終結の時まで
- ③ 令和8年6月27日の日本医師会定例代議員会の日～令和10年6月の定例代議員会の前日まで

(届出順)

任期	役職名	氏 名	所属郡市医師会	再任 新任	任期	役職名	氏 名	所属郡市医師会	再任 新任		
①	代議員会長	田口 利文	都城市北諸県郡医師会	新	監 事		宮田 純一	延岡市医師会	再		
	代議員副会長	北村 洋	児湯医師会	新			檀原進一郎	都城市北諸県郡医師会	新		
会 候 補 者	会 長 候 補 者	河野 雅行	宮崎市郡医師会	再			②	裁 定 委 員	大山 秀	西臼杵郡医師会	再
	副 会 長 候 補 者	小牧 齋	宮崎市郡医師会	再	水野 智秀	日向市東臼杵郡医師会			再		
②	理 事	金丸 吉昌	宮崎市郡医師会	再	山口真太郎	児湯医師会			新		
		松岡 敬子	日向市東臼杵郡医師会	再	井上 博	延岡市医師会			再		
		岡村 樹里	延岡市医師会	新	上田 祐滋	西都市西児湯医師会			新		
		山中 聡	児湯医師会	再	濱田 義臣	都城市北諸県郡医師会			再		
		大塚康二郎	西都市西児湯医師会	再	山元 敏嗣	南那珂医師会			再		
		峰松 俊夫	南那珂医師会	再	榎 信一郎	西諸医師会			新		
		吉見 雅博	都城市北諸県郡医師会	再	下田 和哉	宮崎大学医学部医師会			再		
		井尻 裕司	西諸医師会	新	楠元 正輝	宮崎市郡医師会			再		
		落合 秀信	宮崎大学医学部医師会	再	菊池 清文	宮崎市郡医師会			再		
		濱砂 カヨ	宮崎市郡医師会	新	③	日 医 予 備 員 代 議 員			河野 雅行	宮崎市郡医師会	再
		玉置 昇	宮崎市郡医師会	再					小牧 齋	宮崎市郡医師会	再
		田畑 直人	宮崎市郡医師会	再					金丸 吉昌	宮崎市郡医師会	再
		高木 純一	宮崎市郡医師会	再			市来 能成	宮崎市郡医師会	再		
		市来 能成	宮崎市郡医師会	再			田口 利文	都城市北諸県郡医師会	再		
		上山 貴子	宮崎市郡医師会	再			北村 洋	児湯医師会	新		
		井上 雅文	宮崎市郡医師会	新	高木 純一	宮崎市郡医師会	再				
		大友 直樹	宮崎市郡医師会	新	赤須郁太郎	延岡市医師会	新				
		児玉 由紀	宮崎大学医学部医師会	新							
赤須郁太郎	延岡市医師会	再									
河原 勝博	宮崎市郡医師会	再									
中島 紫織	宮崎市郡医師会	新									

※令和8年5月19日の第183回宮崎県医師会臨時代議員会で選任
 ※令和8年6月20日の宮崎県医師会理事会で会長候補者、副会長候補者を会長、副会長に選定
 ※令和8年6月20日の宮崎県医師会理事会で常任理事を選定



令和8年4月7日(火) 第1回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について
→事業主や産業保健関係者に対し研修や相談対応等を行う産業保健総合支援センターの運営主幹の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き産業保健主担当の池井常任理事を推薦することが承認された。
- ②宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について
→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、産業保健主担当の池井常任理事と副担当の河原理事を推薦することが承認された。
- ③宮崎県学校保健会役員等の推薦について
→県学校保健会の任期満了に伴う役員等の推薦依頼で、引き続き、理事に小牧副会長と高木常任理事、監事に佐々木理事、評議員に吉田常任理事を推薦することが承認された。

2. 7/17(金) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

九州各県の医師会長及び医療行政のトップが一堂に会する合同会議であり、出欠及び提出議題の取扱いについては河野会長に一任することが承認された。

3. 令和8年度県立学校健康管理医業務内容及び報酬額について

県立学校の健康管理医(産業医)の業務内容及び報酬額が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月1日現在の会員数について
3. 3/25(水)全国有床診療所医師連盟執行委員会について
4. 4/3(金)・4(土)(県立芸術劇場)高木兼寛公顕彰演劇宮崎公演について
5. 3/26(木)(都城市)地域医療介護構想セミナーについて
6. 3/28(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会について
7. 3/29(日)(日医)九プロ日医代議員連絡会議について
8. 3/29(日)(日医)日医臨時代議員会について
9. 3/12(木)(九州厚生局宮崎事務所)社会保険医療担当者の集団的個別指導について
10. 3/26(木)(県医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
11. 3/26(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
12. 4/7(火)(県医)九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せについて

医師連盟関係

(議決事項)

1. 4/22(水)(東京)松下新平君を囲む会について
松下新平参議院議員の国政の舞台における更なる飛躍を願い開催される会で、協力することが承認された。

2. 5/30(土) (シーガイア) 河野しゅんじ県政 報告会のご案内について

河野委員長の出席と協力することが承認された。

を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 5/19(火), 6/20(土) (県医) 県医師会代議員 会等について

代議員会等のスケジュール案が承認された。

4. 5/22(金) (日医) 全国医師会産業医部会連 絡協議会の開催について

行動する産業医の養成と、その活躍をさらに促進するために、全国の産業医部会等が連携して支援を行い産業保健活動の質と実効性の向上を図ることを目的に開催される協議会で、池井常任理事が出席することと各郡市医師会に案内することが承認された。

5. 第32回日本医学会総会における産業医セッ ションのサテライト会場設置に関するご協 力の御願いについて

本会館を日本医学会総会産業医セッションのサテライト会場とすることが承認された。

6. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委 員(保険医代表)の推薦について

辞任に伴う推薦依頼について、県放射線科医会から推薦された杜若陽祐先生を推薦することが承認された。

7. 母体保護法指定医師の更新申請について

県医師会母体保護法に関する規程等で2年毎の更新が定められている母体保護法指定医について、45名の更新が承認された。

令和8年4月14日(火) 第1回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①学校給食における食物アレルギー対応委 員会委員の推薦について

→学校給食における食物アレルギーの適切な対応を目的に設置される委員会で、委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、県小児科医会の意向を確認の上、引き続き系数智美先生を推薦することが承認された。

②県准看護師試験委員の推薦について

→准看護師試験の合否判断や行政処分の審議を行う委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き赤須常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

①令和8年度風しん抗体検査事業の委託契 約について

→県民(宮崎市民を除く)で妊娠を希望する女性とそのパートナーを対象に抗体検査を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和8年度小児在宅医療を担う人材の養 成等に関する業務の委託契約について

→医療的ケア児等が地域で安心して暮らすことを目的に、小児在宅医療を担う人材を養成する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

③令和8年度認知症地域医療支援事業に係 る業務の委託契約について

→認知症サポート医、かかりつけ医、医療従事者に対する研修会の開催や、患者や家族が気軽に相談できる体制整備

(報告事項)

1. 4/8(水) (県医) 全国有床診療所協議会理 事会について

2. 4/11(土) (福岡) 九医連常任委員会について

3. 4/14(火) (県医) 日医有床診療所委員会に ついて

4. 4/9(木) (日医) 日医医業経営検討委員会 について

5. 4/10(金) (県医) 医家芸術展世話人会について

6. 4/4(土) (沖縄) 男女共同参画フォーラム について

7. 3/25(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員 会・労災部会理事会について

令和8年4月28日(火) 第2回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 会費減免申請について**

高齢による日医会費・県医会費減免1名，高齢による日医会費減免1名，高齢による県医会費減免2名の申請が承認された。

2. 協賛依頼について

①令和9年（県内各地）「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」における企業協賛・寄附の御案内について
→協力することが承認された。

②11/26(木)～28(土)（シーガイア）第88回日本臨床外科学会学術集会における寄付金募集について
→協力することが承認された。

③8/1(土)・2(日)（宮観ホテル）第48回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会における募金のご案内について
→協力することが承認された。

④10/30(金)・31(土)（宮観ホテル）第128回日本消化器病学会九州支部例会・第122回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 開催ならびに各種協賛のご案内について
→協力することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について
→犯罪や非行を防止し，安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと等に取り組む委員会で，引き続き金丸副会長が就任することが承認された。

4. 業務委託について

①令和8年度医療労務管理支援事業の委託契約について
→医療従事者の勤務環境改善に取り組む医療機関に対し労務環境全般にわたる支援等を実施する事業で，契約を締結することが承認された。

②令和8年度医療勤務環境改善支援センター事業の委託契約について

→勤務環境の改善に計画的に取り組む医療機関に対して，総合的な支援体制を構築することを目的とする事業で，契約を締結することが承認された。

③令和8年度かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業の委託契約について

→診断を行う医療機関の確保し，発達障がい早期診断・早期発見を図ることを目的に医療従事者に対して研修を行う事業で，契約を締結することが承認された。

④令和8年度肝炎ウイルス検査事業の委託契約について

→過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない20歳以上の県民（宮崎市を除く）を対象に行われる事業で，契約を締結することが承認された。

⑤令和8年度ロコモ予防運動推進事業の委託契約について

→「健康寿命社会」の実現のため，県民に対しロコモティブシンドロームに関する知識や予防のための運動の普及等を行う事業で，契約を締結することが承認された。

⑥令和8年度災害時リハビリテーション機能強化事業の委託契約について

→JMATやJRAT（災害リハビリテーション支援チーム）に対し，多職種連携の推進や災害時対応手法に関する研修会を開催する事業で，契約を締結することが承認された。

5. 令和8年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

永年にわたり医療及び医療の推進に精励し，格段の功績があった方に対して贈られる表彰で，各郡市医師会から4名推薦があり，全員推薦することが承認された。また，もう一名の枠があるため，再度，郡市医師会に照会することとなった。

6. 6/27(土)第162回日本医師会定例代議員会並びに6/28(日)第163回日本医師会臨時代議員会の開催について

次期の日医代議員を出席対象とする会議であり、5月19日開催の国会臨時代議員会で選ばれる次期の日医代議員に案内することが承認された。

7. 8/23(日)中四九地区医師会看護学校協議会開催のご案内並びに参加申込等について

『学生の多様性に即した看護教育』をテーマに開催される協議会で、赤須常任理事が出席することが承認された。

8. ピンクリボン活動みやざき賛同団体継続確認及び協賛金のご協力依頼について

乳がんの早期発見・診断・治療の重要性を啓発する活動を行っている事業で、引き続き賛同団体となること及び協賛することが承認された。

9. 5・6月の行事予定について
(報告事項)

1. 4/15(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
2. 4/18(土) (県医) 日医シンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦”」について
3. 4/28(火)地域医療構想データ分析チームミーティングについて
4. 4/15(水)・20(月) (県医) 広報委員会について
5. 4/22(水) (県医) 女性医師等保育支援サービスシステム事業打合せ会について
6. 4/24(金)日医医療安全対策委員会について
7. 4/25(土) (シーガイア) 県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会について
8. 4/19(日) (日医) 日医学校保健講習会について
9. 4/23(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

10. 4/21(火) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

11. 4/21(火) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について

12. 4/25(土) (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会について

13. 4/15(水) (日医) 都道府県医師会新たな地域医療構想に関する担当理事連絡協議会について

14. 4/21(火) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

15. 4/27(月) (県防災庁舎) 県大規模地震時医療活動訓練キックオフ会議について

16. 4/23(木) (県防災庁舎) 県保健医療福祉調整本部会議について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 5/30(土) (JAアズム) 自民党県連総務会並びに県連大会のご案内について

総務会は欠席とし、県連大会に河野委員長が出席することが承認された。

2. 5/30(土) (JAアズム) 自民党県連定期大会代議員名簿提出について

自由民主党宮崎県医療会支部長として河野委員長及び支部選出の代議員として金丸常任執行委員他6名の名簿を提出することが承認された。

3. 自民党県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で支部組織の拡張等に貢献した方を対象とする表彰で、年齢が高い順に10名を選定し推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 4/26(日) (東京) 日医連医政活動研究会について

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	e	e	e	a	d	a, b	c	a	e

県 医 の 動 き

(5月)

8	日医財務委員会 (Web会議) (小牧副会長)		
11	県内科医会評議員会 (玉置常任理事他) 産業医部会理事会 (Web会議) (会長他)	23	(福岡) 九医連常任委員・次期会長合同会議 (会長) (福岡) 九医連常任委員・次期日医代議員協議会 (会長他) (福岡) 九プロ日医代議員 (含・次期) 連絡会議 (会長他)
12	医師協理事会 (河野理事長他) 第2回常任理事協議会 (会長他)	24	(福岡) レジナビフェア福岡
13	支払基金審査運営協議会 (会長)		
14	広報委員会 (荒木常任理事他)	26	県保険者協議会 (小牧副会長他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医師協理事会 (Web会議) (河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) (河野理事長他) 第4回全理事協議会 (Web会議) (会長他)
16	産業医部会総会・研修会 (TV会議) (小牧副会長他) 県内科医会総会・学術講演会 (玉置常任理事他) 三師会会長会 (会長)		
17	県小児科医会役員会 (高木常任理事) 県小児科医会総会・春季学術講演会 (高木常任理事)	27	県移植推進財団定例理事会 (小牧副会長) 県特別支援学校医療的ケア運営協議会 (Web会議) (高木常任理事) 労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (池井常任理事他) 組織強化・将来構想委員会小委員会 (Web会議) (小牧副会長他)
18	県医療審議会医療計画等部会 (金丸副会長他) 在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (吉見常任理事)		
19	第1回理事会 (会長他) 第3回全理事協議会 (会長他) 県医臨時代議員会 (会長他)	28	社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導 (高木常任理事) (日医) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 (Web会議) (金丸副会長他) 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 (河原理事) 県医療審議会及び医療介護推進協議会 (会長他) 県内科医会会誌編集委員会 (玉置常任理事)
20	大規模地震時医療活動訓練に係る第1回調整会議 (金丸副会長他) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (Web会議) (吉見常任理事) 広報委員会 (荒木常任理事他)	29	県有床診療所協議会役員会 (Web会議) (佐々木理事) 病院部会・医療法人部会共同購入・共同事業に関する説明会 (池井常任理事他)
21	県医監事監査 (会長他) 日医医療安全対策委員会 (Web会議) (市来常任理事) 社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導 (田畑理事) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 (大塚常任理事) 医師協監査 (河野理事長他) 県認知症疾患医療センター合同会議 (吉見常任理事)	30	(京都) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (玉置常任理事)
22	全国医師会産業医部会連絡協議会 (池井常任理事他)	31	(京都) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (玉置常任理事)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年5月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 17人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	1	4
外科	1	1	0
整形外科	1	1	0
精神科	2	1	1
脳神経外科	1	0	1
消化器内科	2	0	2
放射線科	1	0	1
神経内科	1	0	1
総合診療科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
老健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 110人

	合計
令和8年度(4/1～5/1)	0
平成16年度から累計	110

3. 求人登録 102件 293人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	83	58	25	消化器外科	7	4	3
外科	18	16	2	乳腺外科	2	2	0
整形外科	23	20	3	健診	2	2	0
精神科	13	12	1	泌尿器科	4	3	1
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検診	0	0	0
消化器内科	24	18	6	皮膚科	0	0	0
麻酔科	6	5	1	婦人科	0	0	0
眼科	9	6	3	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	8	8	0	人工透析	13	10	3
小児科	4	3	1	リウマチ科	2	1	1
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	4	3	1	形成外科	0	0	0
総合診療科・内科	12	9	3	診療科目不問	9	5	4
脳神経内科	4	3	1	緩和ケア	2	2	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	5	3	2	その他	1	1	0
救命救急科	10	6	4	合計	293	224	69

求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	2	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	11	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内	1	非常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	15	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整(いずれか)	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ビア・ささき病院	宮崎市	精,内	3	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230248	社医)耕和会 介護老人保健施設あおしまのいえ	宮崎市	不問	1	常勤
230250	医)恒友会 ひろせみらいクリニック	宮崎市	内,透,泌(いずれか)	2	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230181	医) 社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内,放	4	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	内,透 (いずれか)	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内,外,放	4	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	腎内,泌,内	2	常勤・非常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年5月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 函師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊 江崎医院跡
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり(16台)	所有者: 日向市東白杵郡医師会員 吉田クリニック
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり(6台) 別途, 賃貸の駐車場(22台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 青翠会 山本医院
2. 賃貸物件又は譲渡物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり(3台) 別に隣接病院駐車場あり(応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階(グループホームやすらぎ)	所有者: 都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 滝口内科 (旧)のぞみ医院跡
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり(20台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 平部整形外科医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年5月27日

		6 月					
1	月	19:00	県糖尿病対策推進会議小幹事会	19	金		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> ↑ 国保審査 ↓ </div>
2	火	14:30 15:30 19:00 終了後	県学校保健会理事・評議員会 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育庁表彰審査会 第2回理事会 第5回全理事協議会	20	土	15:00 医師協通常総代会 15:45 医師協理事会 16:00 県医定例代議員会 16:35 第3回理事会 17:00 県医臨時代議員会 17:30 県医連執行委員会	
3	水	15:00	日医救急災害医療対策委員会(Web会議)				
4	木	19:00	学校医部会理事・評議員会(Web会議)	21	日	11:00 (東京)レジナビフェア東京	
5	金	19:00	認知症サポート医・かかりつけスキルアップ研修会	22	月	19:00 広報委員会	
6	土	18:30	(大阪)近畿医療協同組合連合会創立60周年記念式典			10:00 県社会福祉協議会評議員会 14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 19:00 臨床検査精度管理調査実行委員会(Web会議)	
7	日	13:00	(東京)松本吉郎日本医師会会長選挙対策本部事務所開き	23	火		
8	月						
9	火	14:00	県健康づくり協会理事会	24	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会	
10	水						
11	木	13:00 15:00 15:00 18:15 18:30 19:00	社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導 (広島)全国国保組合協会通常総会 日医医療安全対策委員会 勤務医部会会計監査 県アイバンク協会理事会 県産婦人科医会常任理事会	25	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 医師国保組合定例事務監査 19:00 県内科医会理事会	
12	金	13:00 16:00 17:00	都道府県医師会地域医療構想策定ガイドライン等説明会(Web会議) 県移植推進財団評議員会 宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会	26	金	(東京)九プロ(次期)日医代議員連絡会議	
13	土					9:00 (日医)九プロ日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医定例代議員会 12:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(Web会議) 14:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会(Web会議) 16:00 県専門研修プログラム合同説明会	
14	日			27	土		
15	月	19:00	広報委員会	28	日	9:00 (日医)九プロ日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会	
16	火	19:00	第3回常任理事協議会	29	月	19:00 在宅医療協議会役員会(Web会議)	
17	水	13:30 19:30	宮大経営協議会及び学長選考・監察会議 全国有床診療所協議会理事会(Web会議)			13:30 県歯科保健推進協議会 14:00 県健康づくり協会評議員会 18:00 医師協理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第6回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	
18	木	19:00	県内科医会医療保険委員会	30	火		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮崎県医師会行事予定表

令和8年5月27日

		7 月							
1	水	14:30	(門川町) ロコモ予防運動推進事業養成講座	16	木	9:40	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座		
2	木	19:00	医師国保組合理事会			14:30	(高千穂町) ロコモ予防運動推進事業養成講座		
3	金	18:30	病院部会・医療法人部会定時総会			19:00	医師国保組合通常組合理事会 (Web会議)		
4	土	17:00	県外科医会全理事会 (Web会議) 県外科医会総会 (Web会議) 県整形外科医会評議員会 県整形外科医会総会 県整形外科医会理事会 県労災部会総会 (Web会議) 県外科医会・県整形外科医会・県労災部会合同学会 (Web会議)	17	金	13:30	都道府県医師会組織強化担当 役職員連絡協議会 (Web会議)	↑	
				18	土	14:30	産業医研修会 (前期)		
				19	日	9:40	九州山口薬学大会		国 保 審 査
				20	月		(海の日)		
5	日	11:00	(東京) 全国有床診療所協議会理事 会・臨時社員総会	21	火	18:30	医師協理事会		
		12:00	県産婦人科医会ひなたJ-CIMELS宮崎2026			19:00	医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会		
6	月	13:30	県地方独立行政法人評価委員会	22	水			↑ ↓	
		19:00	園医部会理事会						
7	火	19:00	第4回常任理事協議会	23	木	14:30	県国保等はり、きゅう及びあん 摩マッサージ療養費審査委員会		
8	水	9:20	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座			19:00	広報委員会		
9	木	19:00	県産婦人科医会常任理事会	24	金			社 保 審 査	
10	金			25	土	14:00	県小児科医会子ども健康セ ミナー (Web会議) (福岡) 九州地区医師国保組合 連合会合併プロジェクト会議		
11	土	17:00	(鹿児島) 九医連常任委員会	26	日				
		17:30	(鹿児島) 九州医連連絡会常任執行委員会						
12	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	27	月	11:00	国保連合会理事会・通常総会 (Web会議)	↓	
13	月			28	火	15:10	(日医) 日医連執行委員会		
14	火	19:00	第7回全理事協議会 (Web会議)			17:00	(東京) 日医役員就任披露パーティ		
						18:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会		
15	水	16:00	支払基金審査運営協議会 広報委員会	29	水	15:00	労災診療指導委員会・労災部会理事会		
				30	木				
				31	金	18:30	勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。



詳細および最新情報はこちら

都城市北諸県郡医師会学術講演会

6月4日(木) 19:00~20:00 [現地・Web]

未来創造ステーション

「これからの不眠症治療

～オレキシン受容体拮抗薬ボルノレキサントへの期待～

久留米大学 理事長・学長 内村 直尚

主催：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

共催：大正製薬(株)

CC(単位)：20 (1.0)

CC(単位)：0 (1.0), 65 (0.5)

延岡医学会学術講演会

～第2回肥満症を考える会in延岡～

6月5日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

エンシティホテル延岡

「循環器内科医から診た肥満症

～取り組みのご紹介～

県立延岡病院 循環器内科 主任部長

心臓脳血管センター長

山本 展誉

主催：延岡医学会

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：23 (1.0)

令和8年度 介護者向け医療研修会

6月4日(木) 19:00~20:30 [現地]

宮崎市郡医師会館

「心不全の基礎がわかれば日常のケアが変わる」

彩り在宅クリニック 院長 坂田 綱治

主催：宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター

☎0985-77-9106

CC(単位)：80 (1.5)

都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会

6月5日(金) 19:00~20:10 [現地・Web]

都城ロイヤルホテル

「県境における認知症診療の連携

～抗Aβ抗体薬連携投与例の実際～

医療法人共生会びろうの樹 理事長

菅田 真生，他

他演題あり

主催：都城市北諸県郡内科医会

共催：エーザイ(株)

連絡先：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

CC(単位)：29 (1.0)

宮崎市郡産婦人科医会6月例会学術講演会

6月5日(金) 18:50~20:30 [現地・Web]

宮崎市郡医師会館

「当科で行っている子宮筋腫手術について」

宮崎善仁会病院 婦人科 部長 米田 由香里

「子宮筋腫に伴う諸症状に寄り添うGnRHアナログの役割とこれから」

福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授

小川 真里子

主催：宮崎市郡産婦人科医会

共催：キッセイ薬品工業(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

第39回認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会

6月5日(金) 19:00~21:00 [現地・Web]
宮崎県医師会館

「認知症支援における地域包括支援センターとかかりつけ医との連携状況
～地域包括支援センター職員アンケートから見た課題と今後の展望～」
医療法人建悠会土々呂地域包括支援センター
主任介護支援専門員 藤波 冬芽, 他
他演題あり
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
共催：宮崎県認知症疾患医療センター
CC(単位)：29 (2.0)

第94回宮崎県精神科医会懇話会

6月6日(土) 17:30~19:00 [現地]
アートホテル宮崎スカイタワー

「うつ病診療ガイドライン2025の作り方と使い方」
福岡大学医学部 精神医学教室 教授 堀 輝
主催：宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126
共催：大塚製薬(株)
CC(単位)：70 (1.5)

第61回児湯内科医会学術講演会

6月8日(月) 18:30~19:30 [現地・Web]
児湯医師会館

「肝炎ウイルス陽性者に対する通知システムの導入結果と今後の課題」
医療法人誠和会和田病院 臨床検査科
山元 明日香
「ウイルス性肝炎治療の最新治療について」
宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野
助教 大園 芳範
主催：児湯内科医会
共催：ギリアド・サイエンシズ(株)
連絡先：児湯医師会 ☎0983-22-1641
CC(単位)：73 (1.0)

第206回宮崎心臓病研究会

6月9日(火) 18:50~20:00 [現地・Web]
アートホテル宮崎スカイタワー

「CKM(心腎代謝)症候群の治療戦略
～アルブミン尿早期発見の意義を考える～」
群馬大学医学部附属病院 内科学講座
循環器内科学 教授 石井 秀樹, 他
他演題あり
主催：宮崎心臓病研究会
共催：バイエル薬品(株)
連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
CC(単位)：45 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

6月10日(水) 19:00~21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「産業医が行うリスクマネジメントとしての暑熱環境対策」
産業保健相談員 産業医 江藤 敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：11 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

肥満症と心血管リスクについて考える会

6月11日(木) 19:00~20:10 [現地・Web]
KITENビル

「肥満症介入の意義
～循環器内科の視点と臨床研究の取り組み～」
宮崎大学医学部 内科学講座
循環器・腎臓内科学分野 循環器グループ 助教
山本 紗子
「肥満症と循環器疾患を考える」
浦添総合病院 循環器内科
カテーテル治療副部長 中田 円仁
主催：肥満症と心血管リスクについて考える会
共催：ノボルディスクファーマ(株)
☎080-9687-8822
後援：宮崎県医師会
CC(単位)：73 (1.0)

延岡医学会学術講演会

～LDL<55mg/dl時代を見据えて～

6月12日(金) 19:00～20:30 [現地]

アパホテル延岡駅前

「PCIのその先へ～Sustained LDL Loweringで変わる次世代
Drug Intervention～」

天陽会中央病院 循環器内科 部長

加治屋 崇, 他

他演題あり

主催：延岡医学会

共催：ノバルティスファーマ(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：75 (1.0)

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

6月13日(土) 16:30～17:45 [現地]

日向市東臼杵郡医師会館

**「「がん患者の副作用を軽減させるための漢方薬
処方および新規鎮痛薬開発」**

～当講座での最新研究を伝えます～」

東京慈恵医科大学 先端医学推進拠点群

痛み脳科学センター センター長 上園 保仁

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

CC(単位)：83 (1.0)

西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会

6月15日(月) 19:00～20:00 [現地・Web]

西諸医師会館

「循環器専門医から学ぶ心腎連関の治療戦略(仮)」

済生会福岡総合病院 循環器内科 部長

坂本 隆史

主催：西諸医師会 ☎0984-23-2113

共催：西諸内科医会

日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

CC(単位)：73 (1.0)

都城市北諸県郡医師会学術講演会

6月16日(火) 19:00～20:00 [現地・Web]

未来創造ステーション

「長引く咳、痰、息切れ、それCOPD？」

患者さんを楽にする早期診断と治療のTips」

医療法人えびのセントロクリニック 理事長

長井 賢次郎

主催：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

共催：アストラゼネカ(株)

CC(単位)：79 (1.0)

令和8年度心臓検診一次検討会(後期)

6月19日(金) 19:00～21:00 [現地]

日向市東臼杵郡医師会館

「症例検討会」

医療法人社団楠友会 なかむら内科循環器内科

院長

中村 剛之

主催：日向市東臼杵郡医師会心臓検診班

後援：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

CC(単位)：43 (2.0)

第92回宮崎整形外科懇話会

6月20日(土) 15:00～18:30 [現地]

宮崎市民プラザ

「リウマチ足部再建の意義を再考する」

日本医科大学 整形外科学教室 教授 平尾 眞

主催：宮崎大学医学部整形外科学教室

☎0985-85-0986

共催：宮崎県整形外科医会

旭化成セラピューティクス(株)

CC(単位)：61 (1.0)

参加費：1,000円

宮崎県医師会産業医研修会

6月24日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「産業医が行うリスクマネジメントとしての暑熱環境対策」

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

6月25日(木) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場環境測定結果を正しく理解するために」

産業保健相談員

宮崎大学国際連携機構・国際連携センター

客員教授 黒田 嘉紀

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

第19回九州心不全診断フォーラム

6月27日(土) 18:00~20:00 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「循環器予防の重要性

～長崎県の取り組みと、心不全予防ステートメントの紹介～」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

循環器内科学 教授 前村 浩二, 他

他演題あり

「心不全予防におけるバイオマーカーの新たな意義」

東北大学大学院 循環器内科学 教授 安田 聡

主催：九州心不全診断フォーラム

共催：ノバルティスファーマ(株)

連絡先：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

☎090-7270-4047

CC(単位)：73 (1.0)

令和8年度結核予防技術者地区別講習会(九州地区)
(1日目)

7月2日(木) 10:20~20:30 [現地]

ニューウェルシティ宮崎

「改定予防指針に基づく結核対策の方向性(前編)」

公益財団法人結核予防会結核研究所

国際協力・結核国際情報センター長

大角 晃弘

「結核における患者中心の支援の基本と地域を基盤とした支援の強化

～増加する外国出生患者支援への取り組み～」

公益財団法人結核予防会結核研究所

対策支援部 保健看護学科長 座間 智子

「肺・肺外結核の診断と治療のおさらいと最新情報」

公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部

部長

御手洗 聡

主催：宮崎県

連絡先：宮崎県薬務感染症対策課

☎0985-44-2620

CC(単位)：8 (4.0), 12 (2.5)

令和8年度結核予防技術者地区別講習会(九州地区)
(2日目)

7月3日(金) 9:45~15:15 [現地]

ニューウェルシティ宮崎

「改定予防指針に基づく結核対策の方向性(後編)」

公益財団法人結核予防会結核研究所

国際協力・結核国際情報センター長

大角 晃弘

「最近の結核対策の動向を踏まえた今後について」

厚生労働省健康・生活衛生局 感染症対策課

主催：宮崎県

連絡先：宮崎県薬務感染症対策課

☎0985-44-2620

CC(単位)：0 (1.0), 8 (2.0)

令和8年度心臓検診二次検討会(後期)

7月3日(金) 19:00~21:00 [現地]

日向市東白杵郡医師会館

「症例検討会」

医療法人社団楠友会 なかむら内科循環器内科

院長 中村 剛之
 主催：日向市東臼杵郡医師会心臓検診班
 後援：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
 日向市東臼杵郡医師会内科医会
 CC(単位)：44 (2.0)

第22回九州臨床糖尿病医会WEBセミナー

7月4日(土) 16:00~18:00 [Web]

「DKD診療を変えるLong term eGFR plot (LTEP)
 ~長期腎機能推移を踏まえた実践的アプローチ~」
 市立大津病院 内科診療部長 (腎臓内科部門)
 兼 血液浄化部 診療部長 中澤 純
 「膵β細胞の機能と維持調節機序の新たな理解」
 大阪大学大学院理学部 特任教授 中里 雅光
 主催：九州臨床糖尿病医会
 共催：住友ファーマ(株) ☎080-1489-5688
 CC(単位)：0 (1.0), 76 (0.5)

令和8年度宮崎県外科医会・宮崎県整形外科医 会・宮崎県医師会労災部会合同学会

7月4日(土) 17:00~18:00 [現地・Web]

宮崎県医師会館

「うつ病とは~心の痛みと身体の痛み~」
 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座
 精神医学分野 教授 平野 羊嗣
 主催：宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118
 共催：宮崎県外科医会, 宮崎県整形外科医会
 CC(単位)：70 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月8日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「早期離職を防ぐ新人研修担当者・中間管理職に
 対する研修のポイント」
 産業保健相談員 産業医 江藤 敏治
 主催：宮崎産業保健総合支援センター
 ☎0985-62-2511
 共催：宮崎県医師会
 CC(単位)：10 (2.0)
 生涯研修の専門研修会：2単位

認知症治療に携わる医療従事者のための在宅医療 Web Seminar

7月9日(木) 19:00~20:10 [Web]

「精神科医の目線から見たBPSD対応について(仮)」
 (一財)弘潤会 野崎病院 倉増 亜紀
 「かかりつけ医・認知症サポート医のBPSD対応
 について(仮)」
 田口同仁クリニック 院長 田口 雅一
 主催：宮崎市郡在宅医会
 共催：大塚製薬(株) ☎080-6717-1304
 CC(単位)：29 (1.0)

第38回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー

7月11日(土) 15:30~17:30 [現地・Web]

KITENビル

「腰椎椎間板ヘルニアに関するエビデンスとその
 伝え方~Miro-Hers試験が示した結果と臨床的
 意義~」
 大阪公立大学医学部附属病院 総合診療科
 整形外科 准教授 豊田 宏光
 「側弯・腰曲がりと神経障害性疼痛の診断と治療」
 杏林大学医学部 整形外科科学教室 教授 細金 直文
 主催：ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー
 共催：第一三共(株) ☎070-1377-6776
 CC(単位)：60 (1.0), 62 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月15日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「労災保険制度の概要と業務上疾病の認定基準に ついて」

宮崎労働局 労災補償課長 若本 正宏
 主催：宮崎産業保健総合支援センター
 ☎0985-62-2511
 共催：宮崎県医師会
 CC(単位)：6 (2.0)
 生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月16日(木) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

「労働衛生関係法令」

宮崎産業保健総合支援センター 副所長

地福 竹志

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント

田中 伸明

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する**研修のポイント」**

産業保健相談員 産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：10 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

7月24日(金) 19:00~20:15 [現地]

ホテルベルフォート日向

**「CKD診療における早期診断・早期治療の重要性
～エンパグリフロジンの新規エビデンス～」**

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学

講師

祖父江 理

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

後援：日向市東臼杵郡薬剤師会

CC(単位)：12 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月29日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場でみられるうつ病とその対応」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：70 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月29日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「事業場のゲートキーパー活動を支援するために」

産業保健相談員 人財科学研究所 代表

工藤 智徳

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会
CC(単位)：11 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

令和8年度宮崎県医師会勤務医部会総会・前期講演会
7月31日(金) 18:30～20:40 [現地・Web]
宮崎県医師会館

「腰痛診療アップデート」
宮崎大学医学部 感覚運動医学講座
整形外科学分野 教授 亀井 直輔
「いちごが目指すサステナブルインフラ」
いちご株式会社 執行役副社長 兼 COO 石原 実

主催：宮崎県医師会勤務医部会
連絡先：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC(単位)：0 (0.5), 60 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会
7月31日(金) 19:00～21:00 [現地]
都城市北諸県郡医師会館

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」
産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：6 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

延岡医学会学術講演会～県北の脳卒中を考える～
7月31日(金) 19:00～20:30 [現地・Web]
キャトルセゾンマツイ

「脳梗塞の最前線と宮崎県北の脳梗塞診療体制：
立ち上げ1年の成績」
県立延岡病院 脳神経外科 副院長 徳田 高穂
「宮崎県における脳卒中対策～現状と今後の展望～」
都城市郡医師会病院 脳神経外科 部長
宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター
副センター長 大田 元
主催：延岡医学会
共催：第一三共(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300
CC(単位)：10 (0.5), 78 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会
8月5日(水) 19:00～21:00 [現地]
延岡市医師会病院

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」
産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会
CC(単位)：6 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
8月6日(木) 19:00～21:00 [現地]
都城市北諸県郡医師会館

「自律的な化学物質管理とCREATE-SIMPLEを
用いたリスクアセスメント」
産業保健相談員 なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：0 (2.0)
生涯研修の現地研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
8月12日(水) 19:00～21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント」
産業保健相談員 産業医 江藤 敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：6 (2.0)
生涯研修の更新研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月19日(水) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

「事業場のゲートキーパー活動を支援するために」

産業保健相談員 人財科学研究所 代表

工藤 智徳

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「今日のうつ病の現状と対策」

産業保健相談員 中村クリニック 院長

中村 究

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：70 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場でのアルコール依存症に対する対策」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント」

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

お知らせ

日本医師会公式YouTubeチャンネル・LINE公式アカウントのご案内

日本医師会では公式YouTubeチャンネルやLINE公式アカウントを通じて、さまざまな情報を提供しています。それらの情報をご活用いただくため、ぜひ、YouTubeのチャンネル登録並びにLINEへの友だち追加を、下記の二次元コードからお願いいたします。

- 日本医師会公式YouTubeチャンネル



- 日本医師会LINE公式アカウント



問い合わせ先：日本医師会広報課

E-M：kouhou@po.med.or.jp

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7、8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話、私の趣味、旅行記、スポーツ談義、詩、短歌、俳句など何でも結構です。なお、本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字程度（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切 令和8年6月19日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル、氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外（マスコミ・行政・図書館など）にも配布しています。

留意事項

- ◎ 著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ◎ 誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ◎ 布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ◎ 公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ◎ 事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス（genko@miyazaki.med.or.jp）宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法（FAX、郵便など）でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

診療メモ



無痛分娩の現状

宮崎市郡医師会病院 産婦人科・周産期センター

まき
牧よう へい
洋 平

はじめに

無痛分娩は、麻酔によって分娩時の痛みを軽減する医療行為であり、アメリカでは70%以上、フランスでは経膈分娩予定の女性の80%以上と、欧米諸国では広く普及しています。一方で、日本では「産みの痛みを耐えてこそ一人前の母親になる」といった考えが一般的だったこともあり、無痛分娩の普及率は低い時代が長く続きました。しかし、時代の変化にともない、日本でも徐々に無痛分娩が広まっているのが現状です。特に東京都が2025年から無痛分娩費用助成事業を開始したように、もはや無痛分娩は誰もが選択できる分娩方法の一つになりつつあります。本稿では、日本における無痛分娩の現状に関して、課題と今後の展望も含めお示しします。

無痛分娩とは

無痛分娩とは、麻酔を用いて分娩時の痛みを緩和する方法を指します。痛みを緩和することが目的ですので、無痛分娩とはいっても全員が「無痛」＝「痛みが0」ではありません。そのため、以前は「和痛分娩」や「麻酔分娩」といった用語を用いる施設もありましたが、関連学会や行政が「無痛分娩」を使用しており、医学用語としては「無痛分娩」が正しい表記になっています。なお、SNSで無痛分娩と和痛分娩の違いを論述している投稿がありますが、麻酔方法に明確な違いはありません。英語圏ではanalgesia＝「鎮痛」が一般的な用語として用いられています。

麻酔方法

麻酔方法は主に硬膜外麻酔が使用されていますが、一部の施設ではより効果発現が速く、効果も強い脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔の併用（dural puncture epidural techniqueを含む）が採用されています。一時期、レミフェンタニルを用いた静脈麻酔による無痛分娩が一部の施設で行われ、学会でも報告が散見されていましたが、母体の呼吸停止、心肺停止の事例の報告が相次ぎ、2024年10月に日本麻酔科学会から、無痛分娩でのレミフェンタニルの使用は不適切との提言がなされました。

また、麻酔開始時期に関しては、24時間対応できるオンデマンド麻酔と日時を決めて行う計画無痛分娩に大別されます。オンデマンド麻酔は夜間や休日の陣痛発来にも対応できますが、医療者側の負担が大きいことが欠点です。計画無痛分娩は医療者側の負担は小さくなるものの、陣痛誘発剤などの医療介入が多くなることや、計画した日時よりも前に陣痛が来てしまって麻酔ができない場合があるなどのデメリットがあります。各病院・クリニックの事情に合わせて選択されますが、2024年の日本産婦人科医会の調査では、2/3が計画無痛分娩だったと報告されています。

日本の無痛分娩の現状

2024年の日本産婦人科医会の調査によると全国の総分娩数に占める無痛分娩数の割合は2018～2019年までは5%程度でしたが、その後、年々上昇し、2024年には13.8%に増加しています（図1）。地域間の偏りが大きいことも

指摘されており、2024年の東京の無痛分娩率は31.2%に対し、一部の県では0%でした（宮崎は6.3%）（図2）。また、無痛分娩実施施設では分娩数が微増している一方で、非実施施設では分娩数が減少しており、病院・クリニック運営にも影響している可能性が示唆されています。約1/2は麻酔科標榜医を持たない産婦人科医が麻酔を管理していることが明らかとなりました（調査時）。ニーズが急増している中、特に麻酔科医師が不足している地方では、どう対応をしていくかが問題となっています。

安全管理の整備

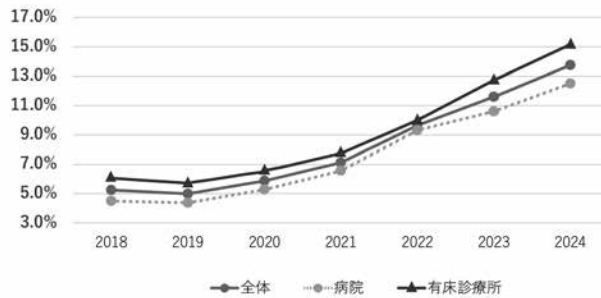
日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本麻酔科学会、日本産科麻酔科学会が、実態調査を適宜行いながら安全管理に関する普及を図っています。無痛分娩の安全性向上と普及を目的として関連学会、団体が、無痛分娩関連学会団体連絡協議会（JALA）を設立しており、無痛分娩取扱施設（JALA登録施設のみ）の情報提供や、各種講習会を行っています。また、母体救命法の普及を目的として設立された日本

母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）でも「硬膜外鎮痛急変対応コース」を開催しています。先述の日本産婦人科医会の調査では、麻酔にともなう重篤な合併症は0.07%、無痛分娩に関連した母体の後遺症は0.9%、無痛分娩に関連した児の後遺症は0.04%と重篤な合併症の頻度は低く、合併症の頻度は麻酔実施者が麻酔科医と産科医では違いがないと報告されています。

今後の展望

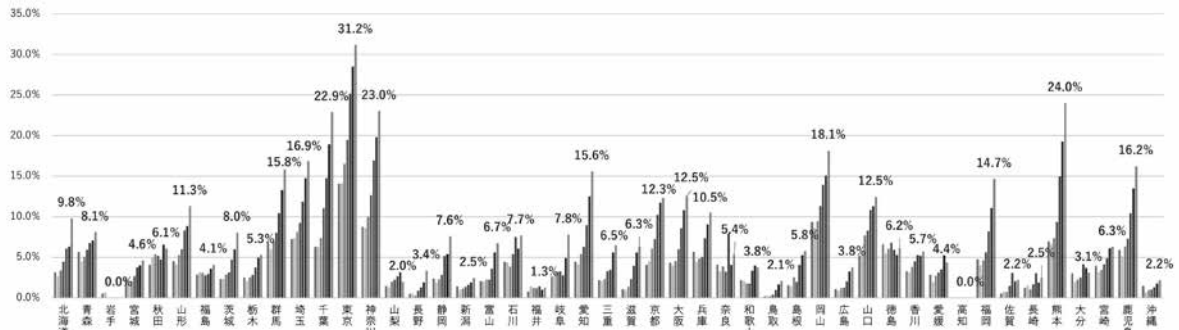
東京都のような無痛分娩補助事業は財源の問題があり、他の道府県での補助事業の実施は難しいとされています。その一方で、無痛分娩を希望する妊婦さんは急増しており、早急な医療現場の体制整備、麻酔実施者の育成、安全管理の強化が求められています。

（本原稿はAIツール（Copilot）で構成、草案を作成後、筆者本人が成書、日本産婦人科医会の報告などを確認のうえ、全原稿を加筆修正しています）



日本産婦人科医会医療安全部会 硬膜外無痛分娩の現状～日本産婦人科医会施設情報からの解析～2025年3月から引用

図1. 全分娩数に占める無痛分娩の件数



日本産婦人科医会医療安全部会 硬膜外無痛分娩の現状～日本産婦人科医会施設情報からの解析～2025年3月から引用

図2. 都道府県別の全分娩数に占める無痛分娩率 (2018～2024)

宮大医学部学生のページ



令和8年度新歓委員会からのご報告

宮崎大学医学部 医学科4年 い さかり ゆうの すけ
飯 盛 裕之助

今年度は、医学科103名、看護学科63名の計166名が宮崎大学医学部に入学しました。多くの新入生が、4月11日の新入生オリエンテーション、4月15日のオレンジパーク、4月19日の新歓BBQに参加し、新歓幹部をはじめとする在學生で新入生を歓迎し、交流を行いました。簡略ではありますが、今年度の新歓で実施した上記のイベントについて報告させていただきます。

まずはじめに、新入生にとって在學生と関わる最初のイベントである新歓オリエンテーションについて報告させていただきます。このイベントは、新入生が少しでも早く宮崎大学医学部に慣れてもらうことを目的としたイベントです。講義棟303教室を利用して、合わせて400人ほどの新入生・在學生が集まりました。最初に部活動紹介を行いました。40程度の部活動・同好会が事前にビラやムービーを準備し、新入生に各部活の雰囲気や活動内容などをアピールする場となりました。ムービーを用いて盛り上げる部活もあれば、アカペラサークルや室内楽部などによる生演奏、ラグビー部やサッカー部による寸劇、ダンス部によるダンス披露など、工夫を凝らして盛り上げてくれる部活もありました。リサイクル企画では、昨年度の卒業生か

ら譲り受けた家具を用意し、新入生が気に入った家具を実際に見て、抽選によって当選者を決めるという形を取りました。家具の数も例年の約2倍の約100点ほど集まり、新入生もどの家具にするかじっくり考えていて、当選した人たちは大変喜んでいました。家具を提供くださった卒業生の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。午前の部が終わり、今年度は午後の部の前に座談会が食堂にて行われました。医学科4年、看護学科2年の在學生と、新入生で、テーブルを囲みながら弁当を食べました。新入生のこれからの大学生活にとって有益な話や、雑談などで、どのグループも話が弾んでおり、とても有意義な時間となったと思います。ミニゲームなども行われ、大変盛り上がりを見せました。午後の部では、新入生自己紹介企画を行いました。新入生に前に出てきてもらい、名



今年度幹部の集合写真

前、出身高校、好きなこと、中高の部活、気になっている部活、といった質問に答えてもらいました。みんな緊張した面持ちではありましたが、元気に話してくれました。好きなことを言うコーナーでは、一発芸を披露する新入生や、逆に先輩に一発芸をするよう無茶ぶりしてくる新入生もいました。幹部の支えや在校生・新入生の盛り上げもあり、オリエンテーション全体としてアクシデントもなく、円滑に実施することができました。こうして無事に新歓オリエンテーションが終わったのは、しっかりと引き継ぎをしてくださった新歓長をはじめとする昨年度の幹部の皆さんのおかげだと感じます。また、来年度の新歓も幹部学年の雰囲気に沿ったものにしてくれることと思います。

次に、オレンジパークについて報告させていただきます。このイベントは、ホテル清武で行われ、梅田学園さんと新歓副の中川ゆめをはじめとする看護学科の2年生が協力して、看護学科の新入生を歓迎するものです。豪華なバイキング形式の食事をとりながら、テーブルごとで会話が弾んでいるようでした。イベントの中で景品をかけ、ラムネの早飲み競走やビンゴ大会が実施され、おおいに盛り上がりました。豪華なバイキングや景品を用意してくださった梅田学園さんに大変感謝申し上げます。

最後に新歓BBQについて報告させていただ

きます。昨年度と同様に宮崎ドライビングスクールさんに協賛していただき実施することができました。例年、天気にも恵まれていたのですが、今年度はあいにくの雨の影響で屋根付きの発着所での開催となりました。在校生や宮崎ドライビングスクールの職員の方々がお肉を焼いたり、カレーを作ったりし、新入生とそれらを食べながら交流しました。食事後は、豪華景品をかけてミニゲームを行いました。幹部、新入生ともに雨雲を吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せ、終わるころには雨が止みました。お肉、カレー、景品を用意し、設営なども行ってくださった宮崎ドライビングスクールさんに感謝申し上げます。

今年度の新歓期間は、新歓オリエンテーションが行われた4月11日から5月1日までの約3週間となりました。先輩からのアドバイスや幹部をはじめとする在校生のおかげで、今年の新歓は成功に終わったと言えると思います。新歓イベントは終わりましたが、これから音楽祭や学祭などまだまだ多くのイベントがあります。今後のイベントも幹部が中心となって邁進していきますので、温かい目で見ただければ幸いです。

以上、拙い文章となりましたが、新歓委員からの報告とさせていただきます。ご覧いただき、誠にありがとうございます。



新歓BBQの様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールデンウィークの海外渡航者に対する感染症予防啓発について ・ 医療機関へ通院中の方に対する特定健康診査の受診勧奨について（依頼） ・ LIFEの厚生労働省から公益社団法人国民保険中央会への移管に伴い事業所・施設で必要な対応について ・ 歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて ・ いわゆる「善きサマリア人法」について考える公開シンポジウム開催のご案内 ・ 疑義解釈資料の送付について（その4） ・ 「使用上の注意」の改訂について ・ 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・ デペモキマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
5月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度の外来データ提出加算、充実管理加算等に係る説明会について ・ 令和8年度診療報酬改定におけるベースアップ評価料に係る施設基準の届出について ・ インスリン専用注射器の使用に関する医療安全情報について ・ 「訪日外国人患者の受け入れを円滑に行うための入門ガイドブック」について ・ 「令和8年度歯と口の健康週間」について ・ 麻しん対策に関する各種資料の周知・活用について（「保健所における麻しん対策・対応ガイドライン（第三版）」等） ・ 令和8年度結核予防技術者地区別講習会（九州地区）の開催について（通知） ・ 医療従事者向けバイオシミラーセミナーの開催について（案内） ・ 医師臨床研修費補助事業実施要綱の一部改正について ・ 令和8年度労災診療費算定基準の一部改正に伴う自賠責保険診療費算定基準（自賠責診療報酬基準）の取扱いについて ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・ 令和8年岩手県大槌町の林野火災の被災者に関する既往歴等の提供について

送付日	文 書 名
5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度におけるデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等の取扱いについて ・ 次期顔認証付きカードリーダーの発売開始について（周知依頼） ・ 令和8年5月・6月のオンライン資格確認等システムのメンテナンスに伴う影響について（周知依頼） ・ 学校等におけるてんかん発作時のジアゼパム点鼻液（スピジア[®]）の投与について ・ 学校等におけるアナフィラキシーショック時のアドレナリン点鼻液（ネフィー[®]）の投与について ・ 令和8年度における介護情報基盤の活用のための介護事業所等への支援について ・ 高次脳機能障害者支援事業の実施について ・ 「医療法施行規則の一部を改正する省令の公布等」及び「特定機能病院に関する事項について」について ・ 認定医療法人及び特定医療法人が行う訪日外国人患者の自由診療に係る診療費の上限の緩和に伴う認定又は承認要件の見直しについて（通知） ・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・ 「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の策定ならびに令和8年「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の実施について ・ 科学的介護情報システム（LIFE）第2回説明会の動画及び資料公開について
5月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストの一部訂正について ・ 令和8年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・ 医療用手袋の備蓄放出に係る医療機関等情報支援システム（G-MIS）の活用に向けた準備について（周知依頼） ・ 麻しんの感染拡大防止に向けた周知への御協力について（依頼） ・ ワクチンの安定供給に関する指針の策定について ・ 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンの出荷調整の解除について ・ アルコール健康障害対策推進基本計画(第3期)の策定について ・ 2026年度第1回認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について（情報提供） ・ 第53回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について（通知） ・ 介護分野の業務効率化に資する汎用機器の導入に向けた省力化補助金の活用について（介護業における対象汎用製品の補助申請受付開始および主な問い合わせについて） ・ 障害（補償）等給付支給請求書に添付する診断書の様式の改正について ・ 労災診療費算定基準の一部改定について ・ 「医療介護提供体制改革推進交付金，地域医療対策支援臨時特例交付金及び地域介護対策支援臨時特例交付金の運営について」の一部改正について（令和8年度「地域医療介護総合確保基金管理運営要領」の一部改正）
5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和8年度の申請受付の開始について ・ 精神科救急医療体制整備事業の実施について ・ 「会員の為の日医ITフェア」についてのご案内 ・ 令和8年度（第60回）臨床検査精度管理調査の実施について ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組進捗ガイドの公表について

送付日	文 書 名
5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動等における熱中症事故の防止について（周知依頼） ・多剤耐性緑膿菌（MDRP）感染症等に係る試験検査の実施について ・疑義解釈資料の送付について（その5） ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「令和8年度における外来データ提出加算等の取扱いについて」の一部訂正について ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部改正等について ・「定期健康診断等及び特定健康診査等の実施に係る事業者と保険者の連携・協力事項について」の一部改正について ・「「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（訪問通所サービス，居宅療養管理指導及び福祉用具貸与に係る部分）及び指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」
5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄放出について ・感染対策研修用備品の貸出について ・第57回全国学校保健・学校医大会「分科会」の演題募集の期間延長について ・令和8年度特定医療費（指定難病）受給者証の更新について（依頼） ・小児慢性特定疾病医療受給者証の更新に係る留意点について（依頼） ・フリーランス・事業者間取引適正化等法の説明会の開催について ・令和8年度宮崎県保健指導実施者初任者研修会の開催について（通知） ・「訪問看護事業所の看護師等がDtpwithNによるオンライン診療の補助を行った場合の令和8年度診療報酬改定を踏まえた評価に関するQ&A」の送付について ・「臓器提供の手続に係る質疑応答集」の一部改正について ・「移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について」の適用開始について
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・【重要】タブネオスカプセル10mgによる重篤な肝機能障害について ・日本医師会「令和8年度新興感染症対策研修支援事業」について ・新興感染症に対する医療提供体制調整業務への補助について ・「電子的診療情報連携体制整備加算」の届出について ・医療の質向上のための体制整備事業への協力について（医療の質可視化プロジェクト） ・労働安全衛生法に基づく化学物質管理の無料相談窓口のご案内 ・女性の健康課題に係るマニュアルの周知等の協力依頼について ・地域木育遊具等導入支援事業の募集について ・令和8年度第1回産業医Web研修会の開催について ・令和8年度診療報酬改定に伴うCAR発現細胞を含有する再生医療等製品の最適使用推進ガイドラインに係る取扱いについて ・閉塞性睡眠時無呼吸症候群の効能又は効果を有するチルゼパチド製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・「労災診療費算定マニュアル（令和8年6月版）」の一部改定について ・労災保険における訪問看護の取扱いの一部改正について ・労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行等について ・公知申請に係る事前評価が終了し，医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて

送付日	文 書 名
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の一部訂正に伴う差し替えについて ・ファセンラ皮下注30mgシリンジ及び同皮下注30mgペン等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・宮崎県がん検診精度管理要領及び様式の一部改正について（通知）
5月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る協力依頼について ・「宮崎県子育てにやさしいまちづくり事業補助金」の周知について（依頼） ・経済産業省デジタル化・AI導入補助金2026について（情報提供） ・令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和7年度調査）の結果について（最終版・情報提供） ・一般用医薬品等の適正使用のための情報提供等及び依存の疑いのある事例の副作用等報告の実施について ・疑義解釈資料の送付について（その6） ・チルゼパチド製剤（ゼップバウンド皮下注）の使用にあたっての留意事項について ・チルゼパチド製剤の最適使用推進ガイドライン（閉塞性睡眠時無呼吸症候群）における教育研修施設について ・ヘンナ及びヘンナ由来物を含有する頭髪用化粧品類等の使用上の注意事項について ・バリシチニブ製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）の一部改正について ・「医薬品等の注意事項等情報の提供について」の一部改正について ・「医療用医薬品の添付文書等の記載要領の留意事項について」等の一部改正について
5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・外来・在宅ベースアップ評価料(I)の5月中の届出について（再周知）及び書面提出に係る届出様式について ・医療費助成のオンライン資格確認ができなかった時の代替措置について ・「令和8年度（令和7年度からの繰越分）病床数適正化緊急支援事業」に関するQAについて ・「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る協力依頼について ・CKDシールの運用変更について（依頼） ・予防接種リサーチセンター発行冊子「親子で学ぶ予防接種」の配布申込について ・令和8年度日本医師会認定産業医制度第7回・第8回基礎研修会の開催について（ご案内） ・公益社団法人国民健康保険中央会によるLIFEに係る説明会動画の公開について（情報提供） ・アエントリペンタート静注1055mg及びジトリペンタートカル静注1000mgの有効期間の延長について（通知） ・バンデフィテムセル製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う保険適用上の留意事項について ・ラグネプロセル製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う保険適用上の留意事項について ・ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤のバイオ後続品に係る最適使用推進ガイドラインに伴う保険適用上の留意事項について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和6年能登半島地震による被災に伴う保険診療の特例措置の終了について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp



あとがき



窓外に目を向ければ、宮崎の陽光は日増しに力強さを増し、初夏の爽やかな気配が漂う季節となりました。会員の皆様におかれましては、日々のご診療に邁進されていることと拝察いたします。

今月号も無事に発行の運びとなりました。本誌『日州医事』が、単なる学術的・行政的な情報伝達の媒体に留

まらず、県内の諸先生方を結ぶ強固なネットワークの一助になれば、編集担当としてこれほど嬉しいことはありません。かつてのような、お酒を酌み交わす賑やかな「飲みニケーション」が難しい時代となりましたが、誌面を通じたこうした知的交流こそが、宮崎の医療の質を底上げし、支える豊かな土壌になると信じております。

さて、本誌には多岐にわたるコーナーがございますが、なかでも「宮崎グルメ探訪」は読者の皆様からの関心が特に高いようです。膝を突き合わせて語り合う機会が減った今だからこそ、心から満足できる「隠れた名店」でのひとときは、我々にとってより貴重なものになったと言えるかもしれません。私自身、お気に入りのお店は何軒か持ち合わせてはありますが、残念ながら披露できるほどの蘊蓄もなければ、その魅力を余すことなく伝える文才も持ち合わせておりません。そこで、ぜひ会員の皆様が大切にされている「とっておきの一軒」を、その熱い想いとともにご執筆いただけないでしょうか。

皆様からの珠玉のグルメ情報をお待ちしております。季節の変わり目、ご自愛ください。 (下窪)

* * *

本年度から広報委員をさせていただいております。何分不慣れなもので、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。少し前の話にはなりますが、大淀川学習館(水辺の楽校)の移転が取消しになり、個人的には安堵し嬉しく思っております。存続にあたり、運営や改装の費用がどの程度かかるかは知りませんが、パブリックコメントを受けての移転中止は、市長の英断だと思えました。 (川畑)

* * *

本年度から広報委員を務めることになりました。委員の役割のひとつに、このあとがきの執筆があります。もともとエッセイを読んだり、人の話を聞いたりすることは好きなのですが、自分で文章を書くのはあまり得意ではなく、毎回何を書こうか悩みそうです。2か月に一度の担当ですので、肩の力を抜きながら続けていければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。 (持田)

* * *

今期で学生委員も2年目となりましたので、あらためてご挨拶させていただきます。医学科5年の野間です。趣味は筋トレで、2年生の終わりごろから続けています。3年目に入り、最近ではデッドリフト130kgを挙げられるようになりました。自分でも肉

体の全盛期を迎えていると感じています。今はBIG3(スクワット・ベンチプレス・デッドリフト)すべて100kg超えを目標にしており、限界に挑戦する年になりたいと思います。 (野間)

* * *

今年度より、学生委員を務めさせていただきます。宮崎大学医学部医学科4年の富田あさひと申します。出身は日向市です。もともと読書が好きだったのですが、ここ数年は活字から少し離れてしまっていました。広報委員会の活動を機に、再び読む習慣を取り戻したいと思っております。投稿される記事や委員会の先生方のお話を通して、宮崎県の医療の実際を知ることのできる貴重な機会を大切にしながら、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。よろしく願いいたします。 (富田)

* * *

日向市東郷町の中島美術館を訪れてみました。メディアキット創設者の中島弘明氏によって、同社工場近くの丘に建てられた瀟洒な建物です。ルノワールなどの洋画をはじめ、日本画や、人間国宝に指定された陶芸家らによる茶器・陶磁器など、見応えのある作品が展示されていました。カフェも併設されており、霞たなびく尾鈴の山々を眺めながら、豊かな時間を過ごしました。 (田畑)

今月のトピックス

会長のページ 医師会共同利用施設

第31回総会（群馬県高崎市）では、医師会病院をはじめとする共同利用施設は経営的に大変厳しい状況であること、現状打破の目的でさまざまな取組みがなされていることが報告されました。令和9年の第32回全国医師会共同利用施設総会は、9月にシーガイアで開催されるそうです。 3ページ

随筆 臨床推論の深淵（後編） The abyss of clinical reasoning – to avoid the cognitive bias (Part2)

北村和生先生の手記、臨床推論の深淵（後編）です。前編同様、病理医の鋭い視点と家族としての切実な思いが丁寧に描かれています。最後の筆者自身のエピソードは衝撃でした。総胆管結石乳頭嵌頓を、わずか数十分で、自力で診断し治すなんてとても真似はできません（笑）。 8ページ

随筆 夫婦川柳（その1）

谷口二郎先生による夫婦にまつわる川柳です。夫婦とは実におもしろい存在である。愛し、愛されスタートした夫婦生活も、年齢を重ねるにしたがって変化していくものである。金婚式を迎えられた谷口先生の川柳を楽しく読ませていただきました。 12ページ

身近なお困りごと相談室

懲戒処分は、職場秩序維持のために必要な制度ですが、感覚的・感情的対応ではなく、「記録を残し、手順を踏む」という視点が、近時の労務管理では特に重要になっているとのこと。とても勉強になりました。 17ページ

部会だより 学校医部会

昨今、子どもたちの安全・安心な場所であるはずの家庭・地域・学校・医療が、崩壊しそうになっていると感じます。子どもたちが安心して健康に暮らせるように、学校医部会の役割の大切さを感じました。部会では、学校医不足、学校医報酬の不十分さ、学校医の担い手の少ない眼科・耳鼻科における重点的健診のあり方など、多くの課題を検討しています。 23ページ

診療メモ 無痛分娩の現状

牧洋平先生が、無痛分娩の現状について詳しくまとめてくださいました。無痛分娩を希望する妊婦さんが急増しており、早急な医療現場の体制整備、麻酔実施者の育成、安全管理の強化が求められています。 60ページ

（文責：高村 一紘）

日 州 医 事 第922号（令和8年6月号）（毎月1回10日発行）

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

https://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 永野 元章

副 委 員 長 下 窪 徹, 高村 一紘

委 員 高橋 聡, 川畑 武彦, 竹尾 輝久,

池田 俊郎, 持田 幸代

学 生 委 員 野間 貫太, 安丸 佳苗, 富田あさひ, 日高 想大

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）